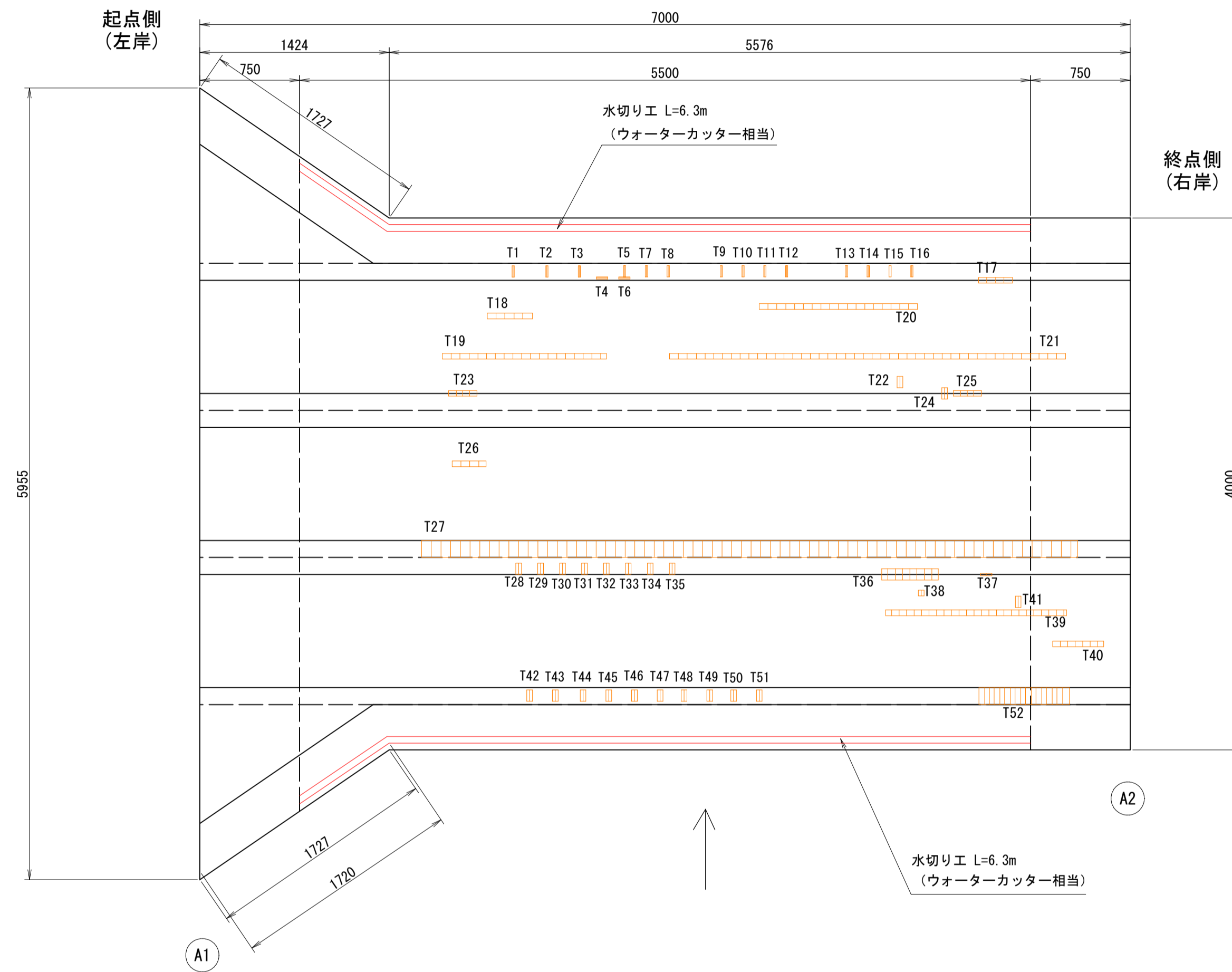


桁下面伏図



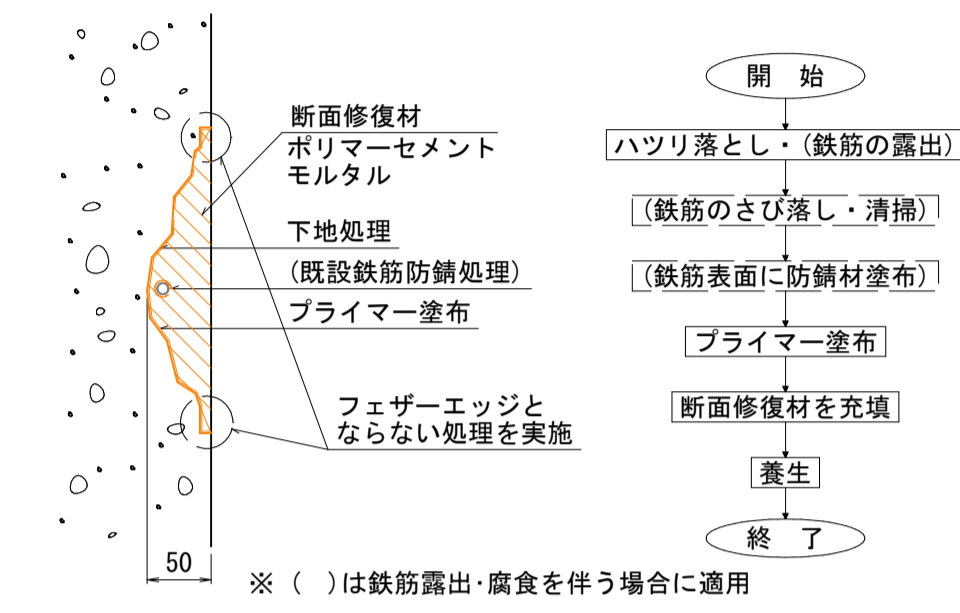
水切り設置工数量表

NO.	長さ (m)
橋下面	
上流側	6.30
下流側	6.30
合計	= 12.60

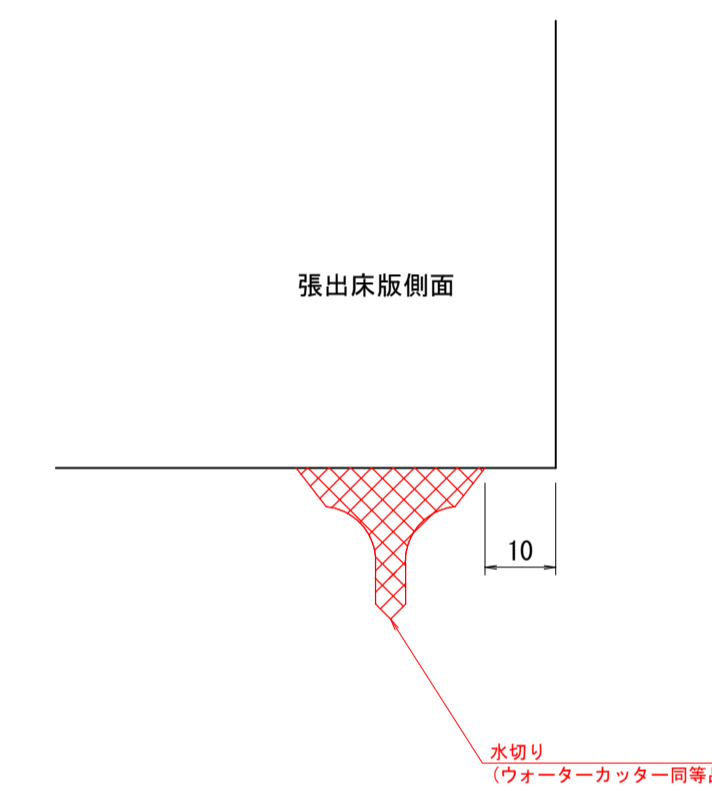
断面修復工補修数量表
損傷種別：鉄筋・鋼材露出

合計 = 1.68㎡

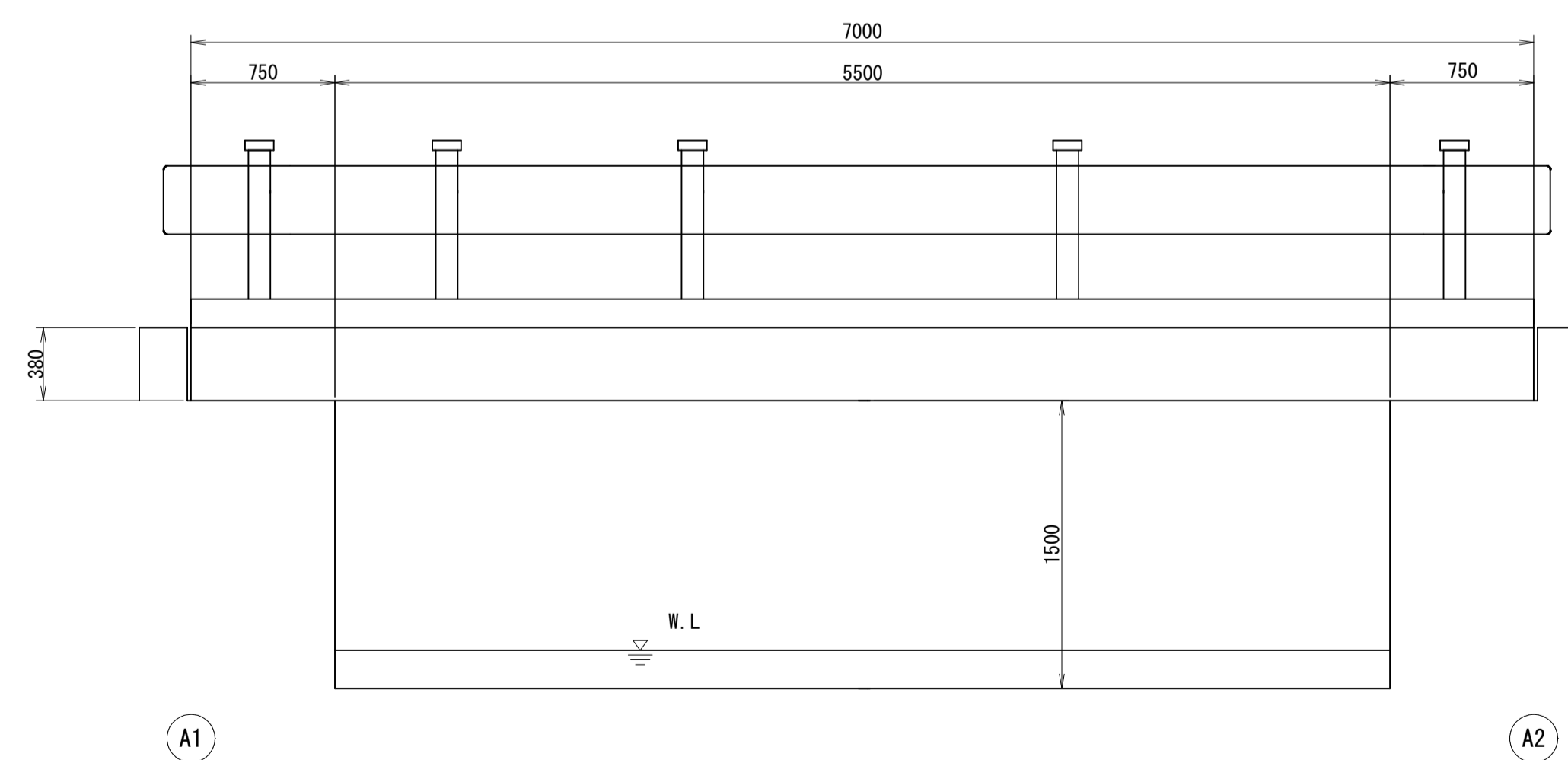
断面修復工詳細図(参考)



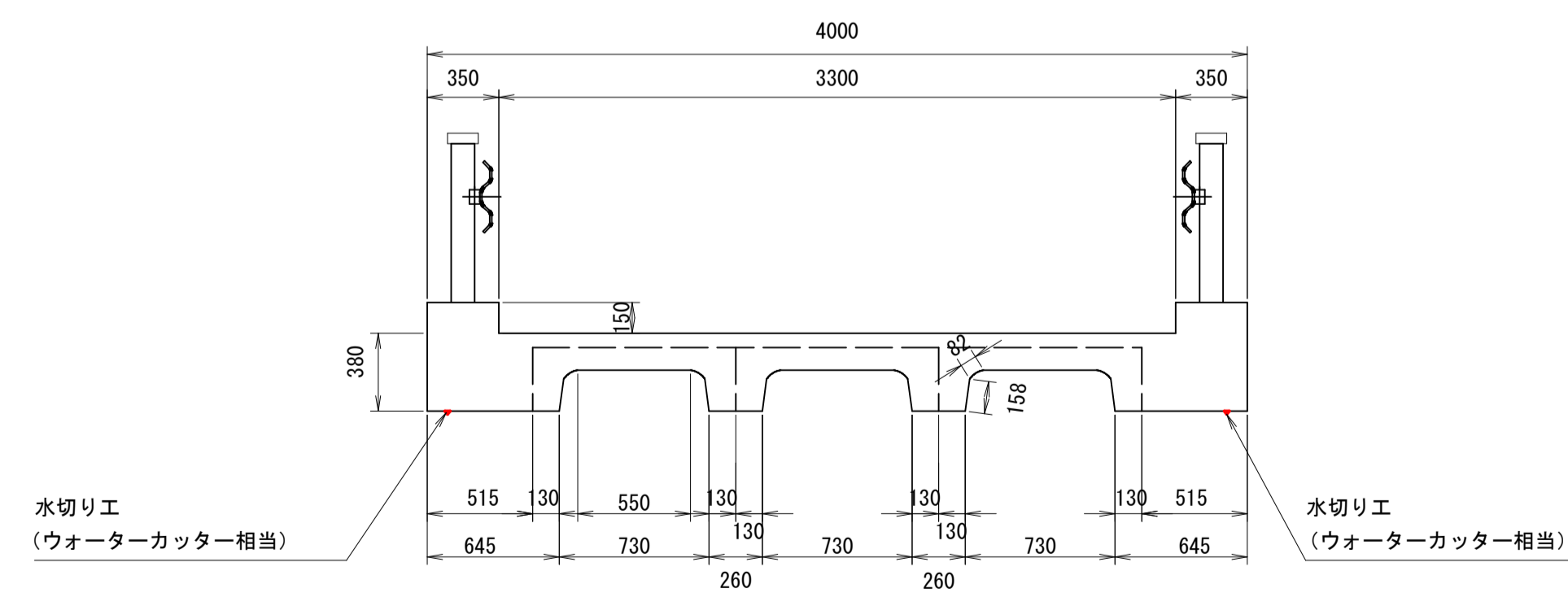
側面図 S=1:1



側面図



断面図



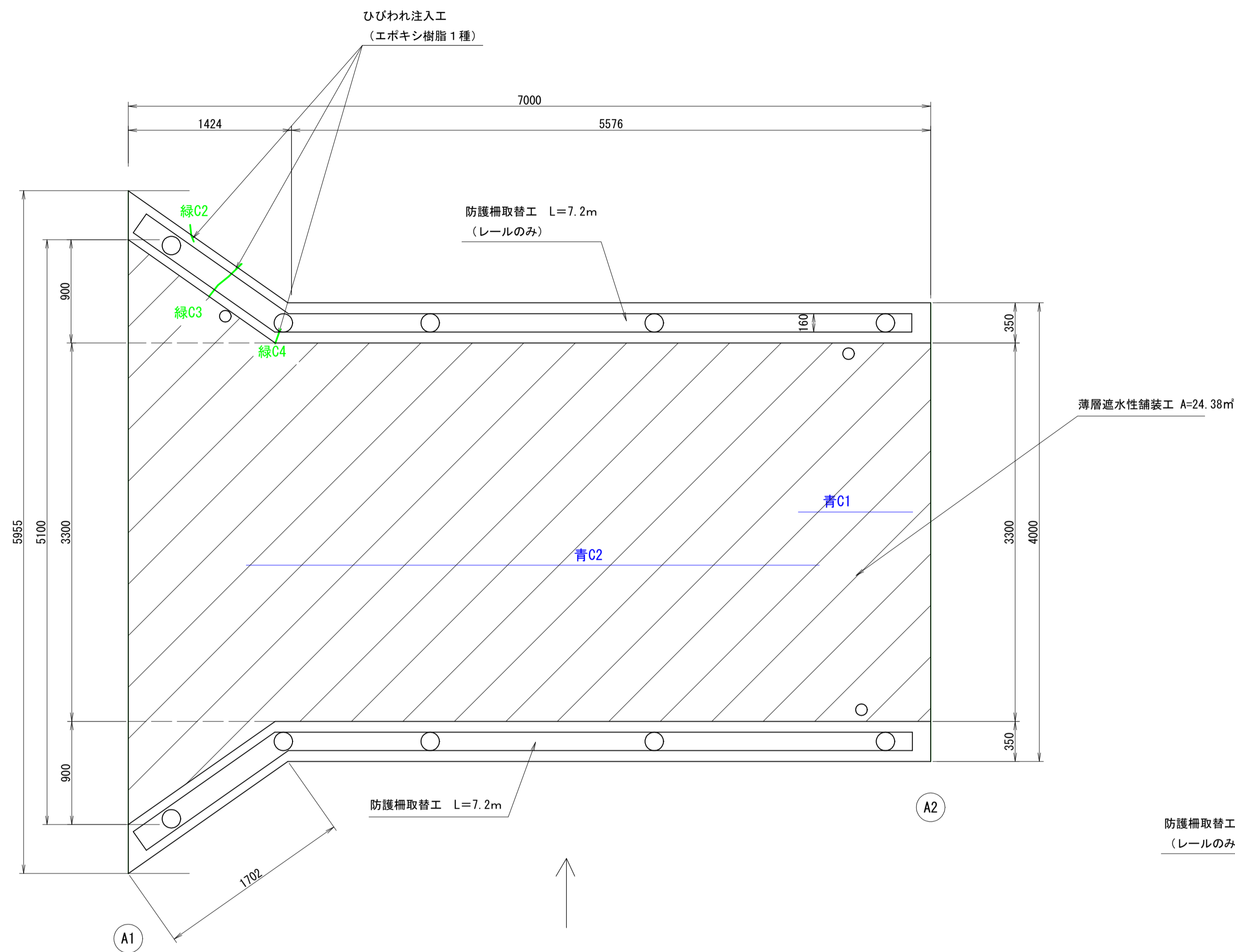
凡例

	ひび割れ注入工 (0.2mm以上)
	ひび割れ注入工 (1.0mm以上)
	薄層遮水性舗装工
	断面修復工
	水切り設置工

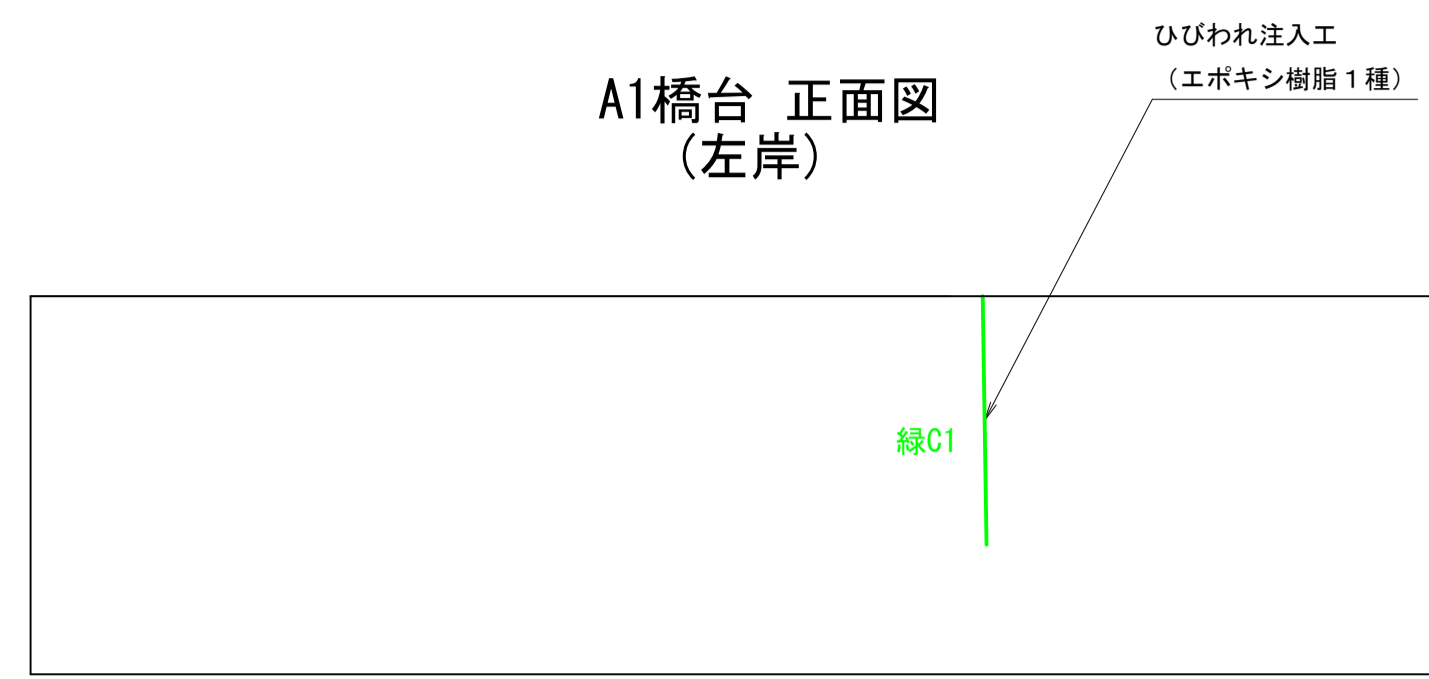
住宅前橋

図面番号	第 12 枚内 1 号
図面名称	市道住の江4号線住宅前橋ほか2橋りょう補修工事 補修図 1
縮尺	図示 (A3版は表示縮尺の1/2に縮小表示)
製図年月日	令和 年 月 日
写図年月日	令和 年 月 日
米子市 都市整備部 道路整備課	

平面図（橋面）



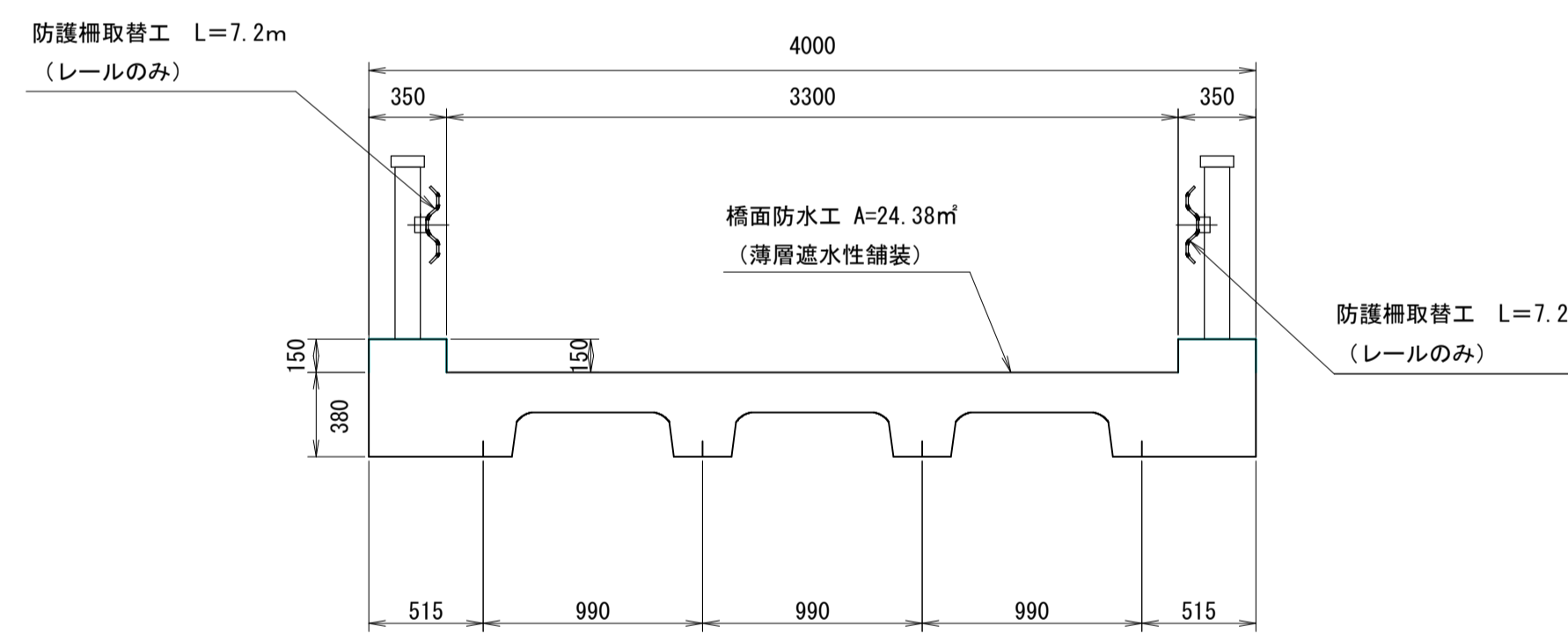
A1橋台 正面図 (左岸)



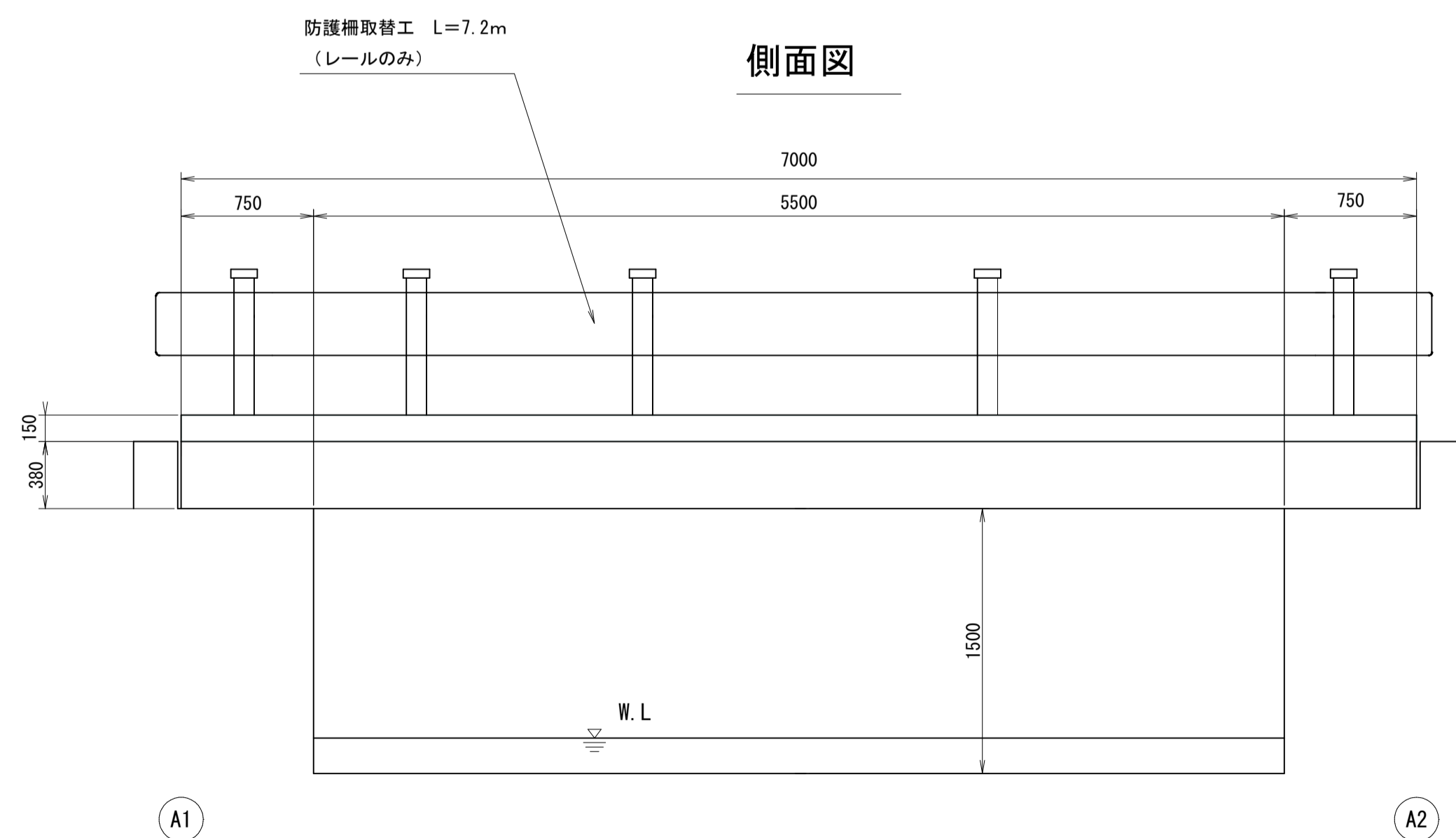
A2橋台 正面図 (右岸)



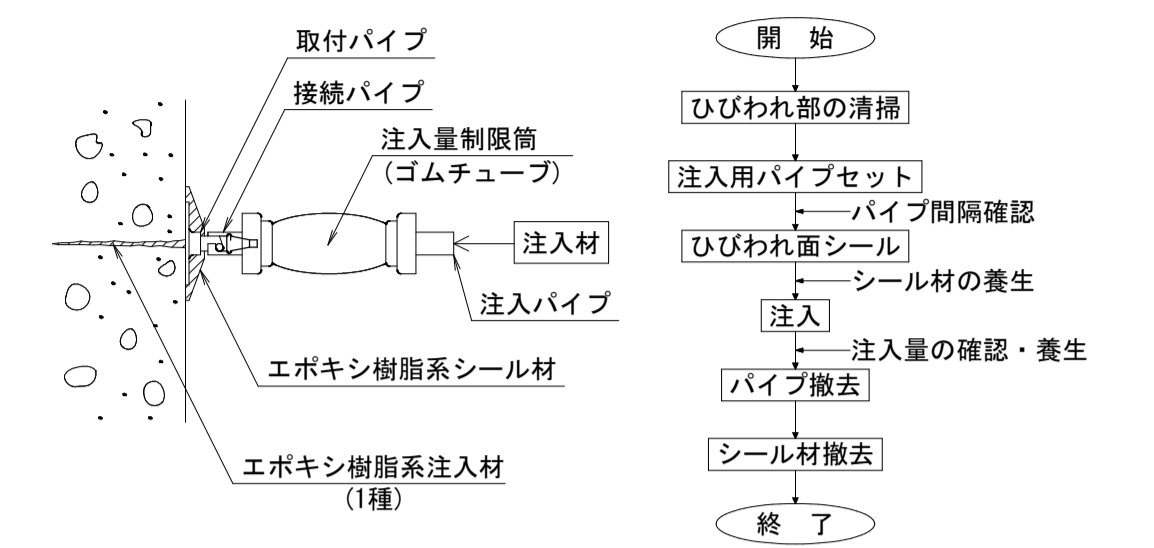
断面図



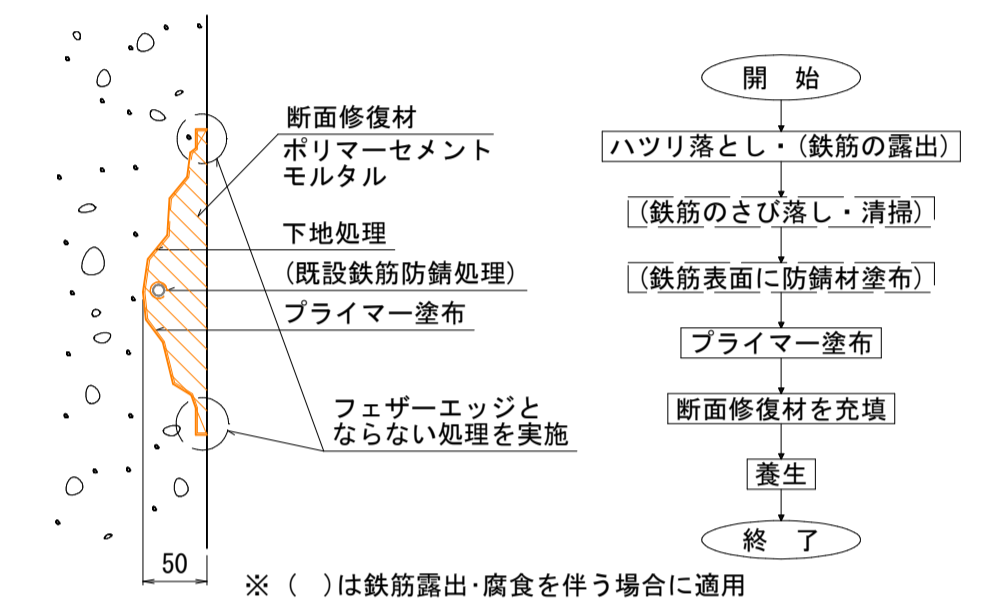
側面図



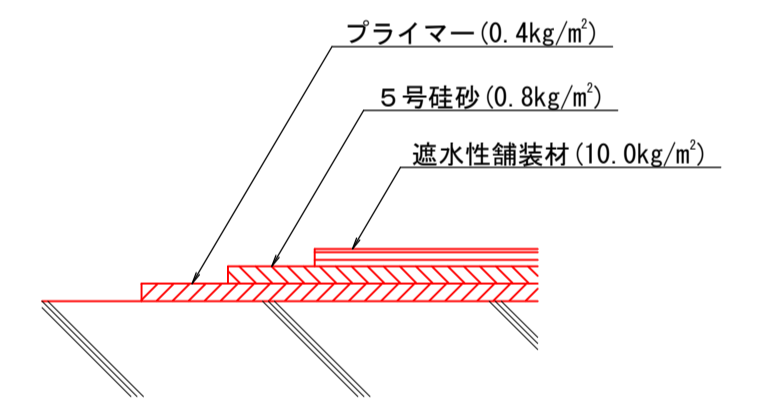
ひびわれ注入工詳細図(参考) (エポキシ樹脂注入材 1種)



断面修復工詳細図(参考)



薄層遮水性舗装工 (参考図)



- ※ 施工面所の清掃を十分に行うこと。
- ※ 気温5℃以下以下では施工しないこと。
- ※ 気温35℃以上で施工する場合は、材料を冷やすか路面に散水等を行うこと。
- ※ 路面が濡れた状態で施工を行わないこと。
- ※ 材料は可使用時間内に使用し、可使用時間を過ぎたものについては使用しないこと。

ひび割れ注入工数量表

0.2mm以上1.0mm未満	合計 = 0.74m
1.0mm以上5.0mm未満	合計 = 13.00m

橋面防水工補修数量表 (薄層遮水性舗装)

NO.	面積 (m ²)
橋面	
合計 =	24.4

防護柵取替工 (レールのみ)

NO.	長さ (m)
A1側	7.20
A2側	7.20
合計 =	14.40

凡例

	ひび割れ注入工 (0.2mm以上)
	ひび割れ注入工 (1.0mm以上)
	薄層遮水性舗装工
	断面修復工
	水切り設置工

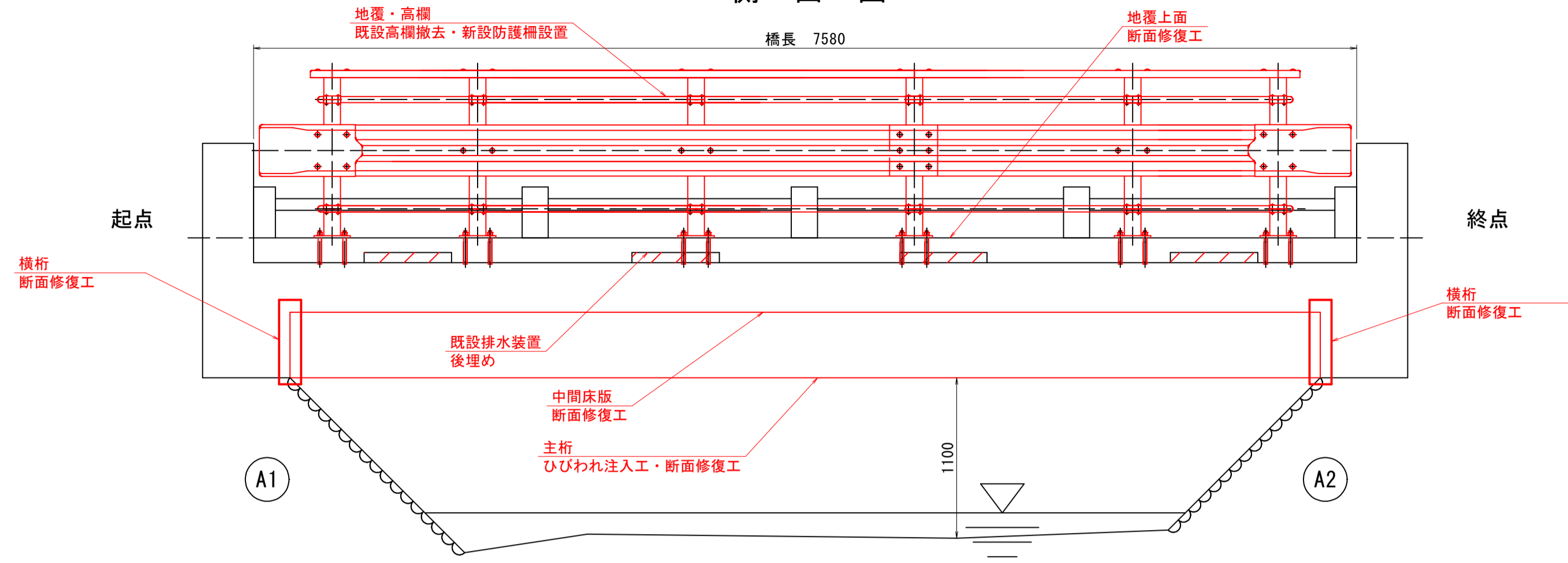
住宅前橋

図面番号	第 12 枚内 2 号
図面名称	市道住の江4号線住宅前橋ほか2橋りょう補修工事 補修図2
縮尺	図示 (A3版は表示縮尺の1/2に縮小表示)
製図年月日	令和 年 月 日
写図年月日	令和 年 月 日
米子市 都市整備部 道路整備課	

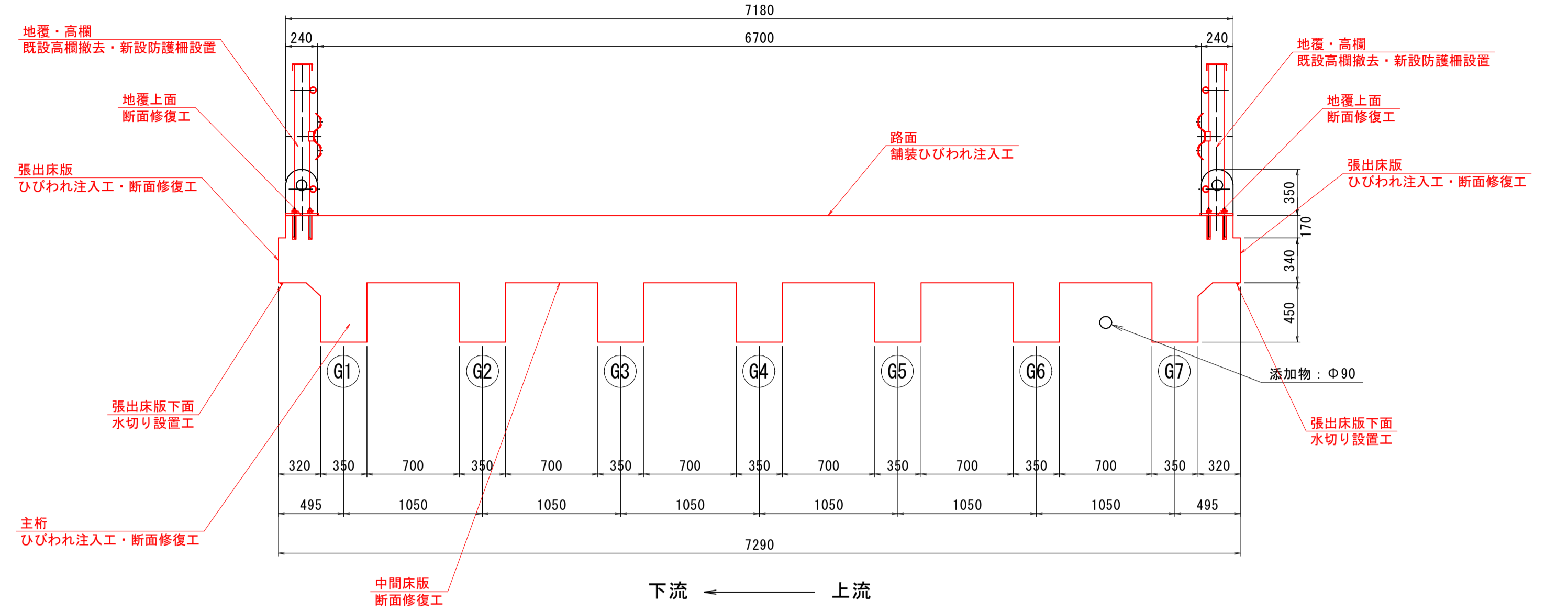
商蚕橋 橋梁補修一般図

S=1:30

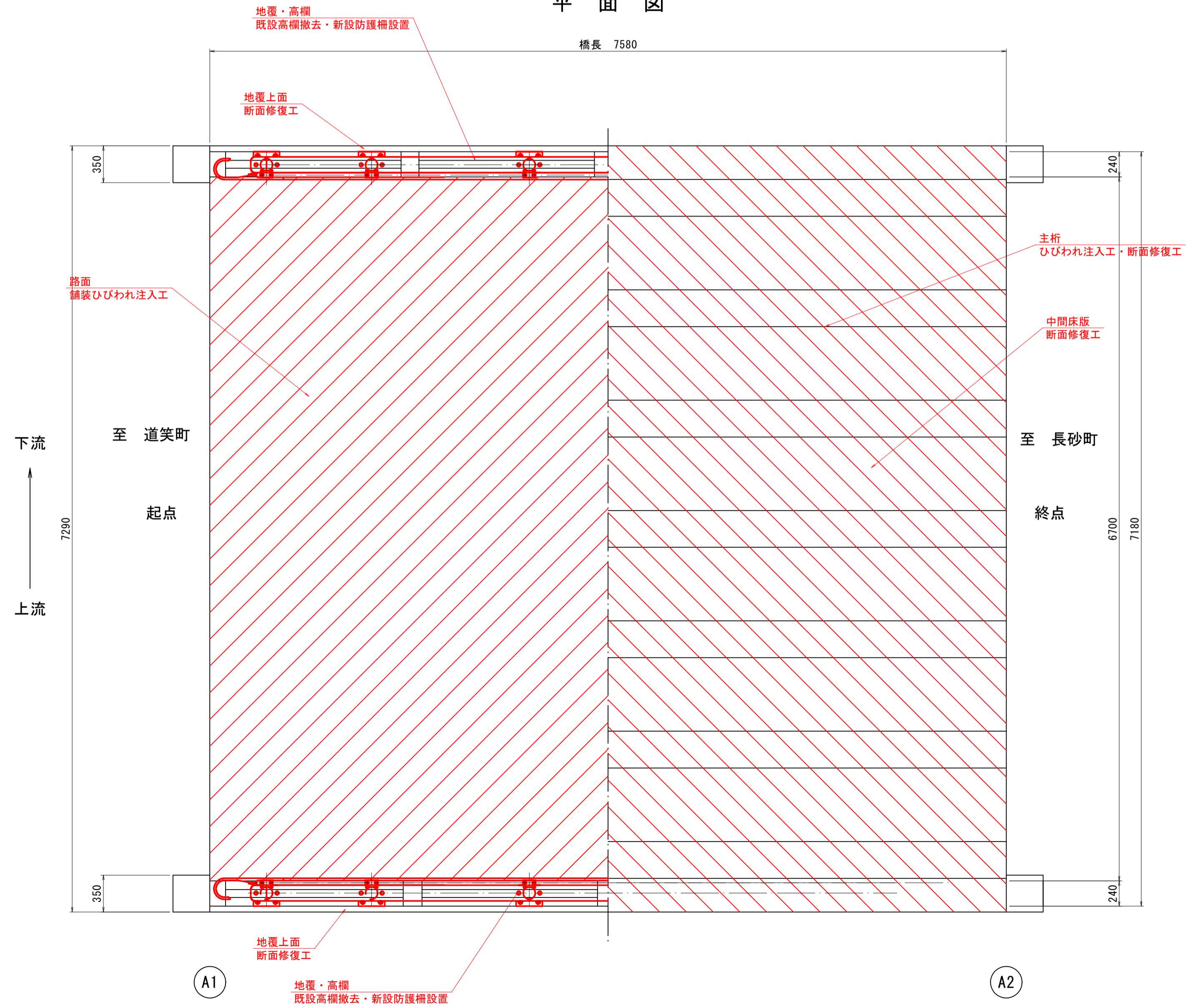
側面図



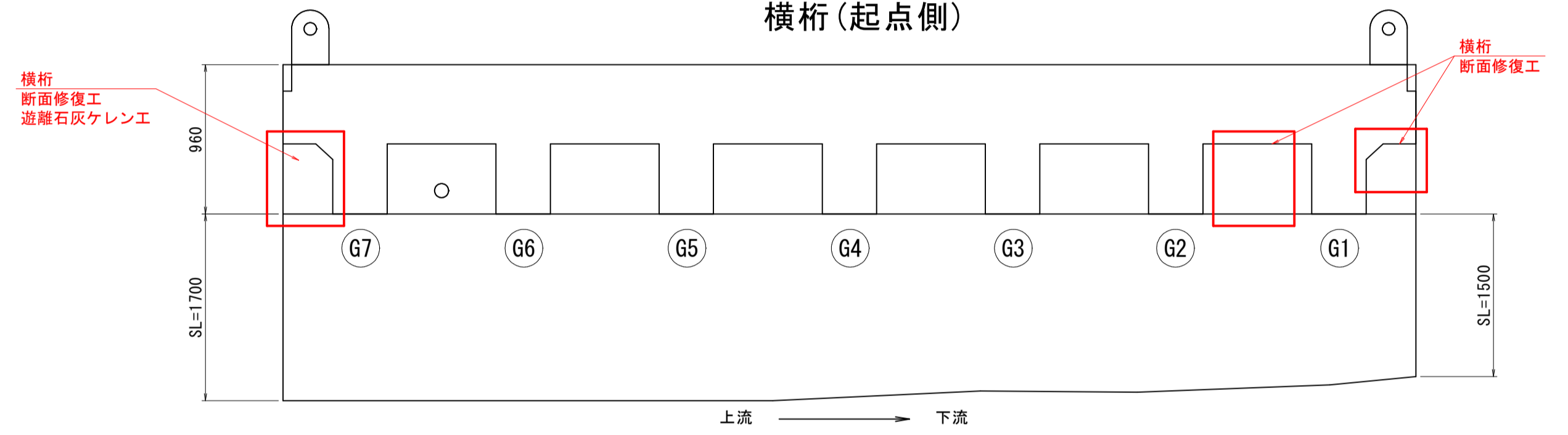
断面図



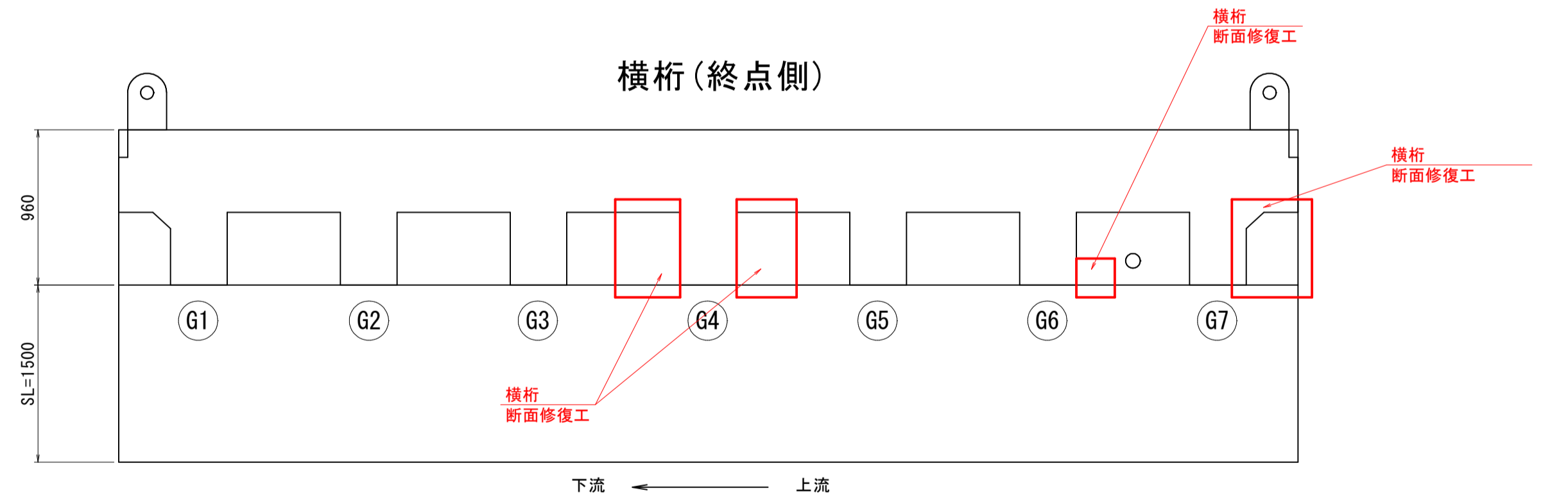
平面図



横桁(起点側)



横桁(終点側)



補修工一覧表

部 位	工 種	工 種
主桁	ひび割れ注入工	低圧注入工法(エポキシ樹脂系注入材 3種)
	断面修復工	ポリマーセメントモルタル・左官
中間床版	断面修復工	ポリマーセメントモルタル・左官
	ひび割れ注入工	低圧注入工法(エポキシ樹脂系注入材 3種)
張出床版	断面修復工	ポリマーセメントモルタル・左官
	遊離石灰ケレン工	動力工具・素地調整4種ケレン相当(既設排水孔)
	水切り設置工	EPDMゴム (ウォーターカッター同等品)
	断面修復工	ポリマーセメントモルタル・左官
横桁	遊離石灰ケレン工	動力工具・素地調整4種ケレン相当(既設排水孔)
	防護柵取替工	ベースプレート式防護柵(ガードレール)・既設排水施設後埋め
地覆・高欄	断面修復工	ポリマーセメントモルタル・左官(地覆上面)
	舗装ひびわれ補修工	加熱式ひびわれ注入工法

商蚕橋

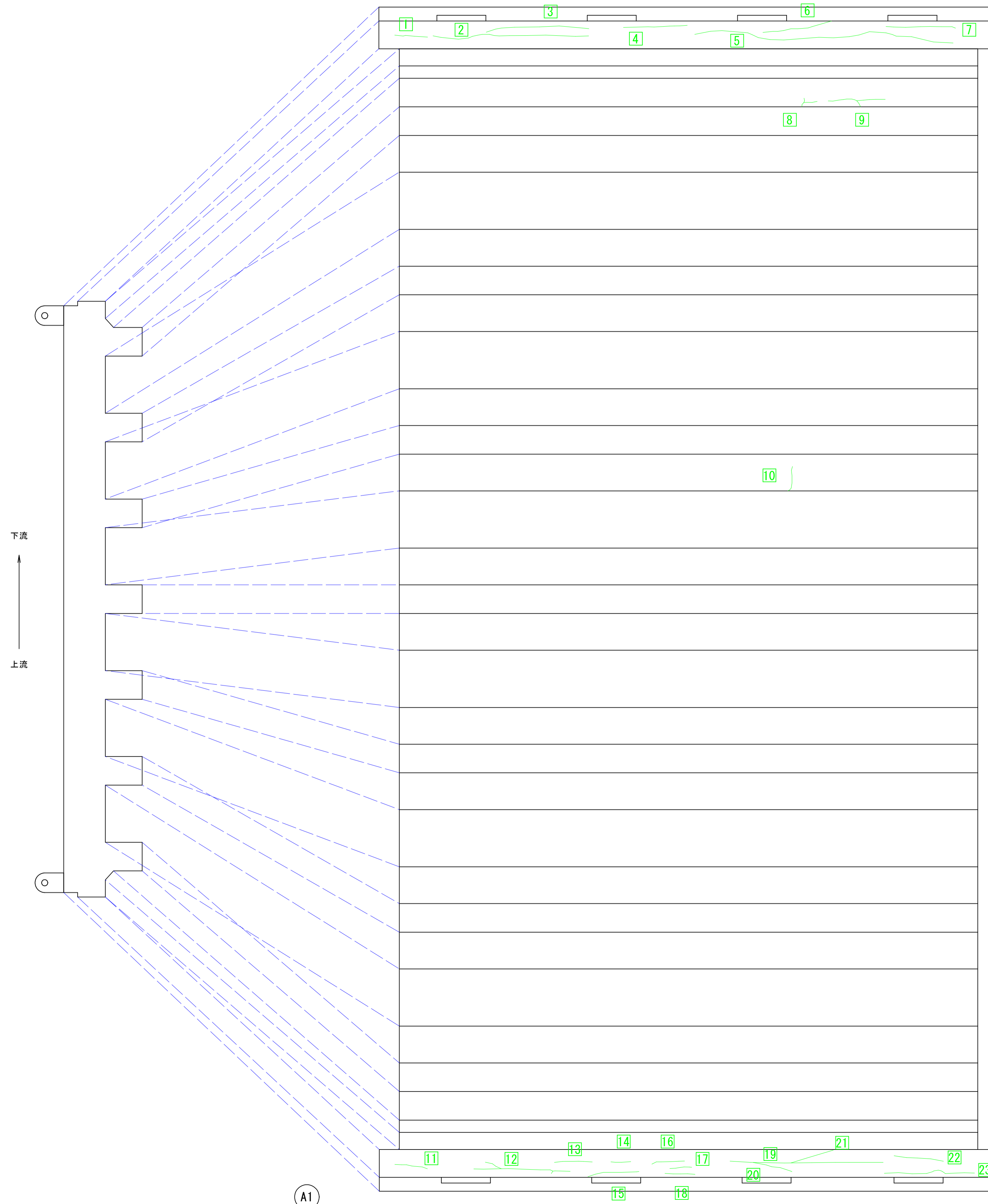
図面番号	第 12 枚内 3 号
図面名称	市道住の江4号線住宅前橋ほか2橋りょう補修工事 商蚕橋 橋梁補修一般図
縮 尺	図示(A3版は表示縮尺の1/2に縮小表示)
製図年月日	令和 年 月 日
写図年月日	令和 年 月 日
米子市 都市整備部 道路整備課	

商蚕橋 上部工補修図1

S=1:30

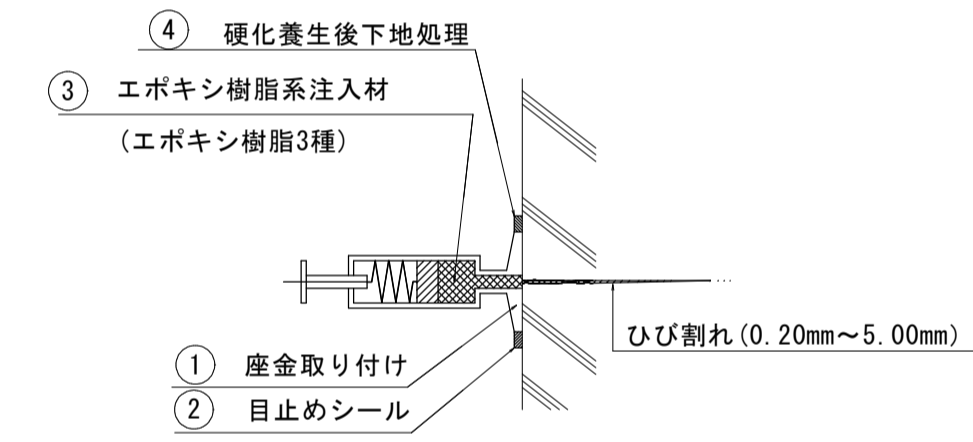
地覆・主桁下面

ひび割れ補修工



ひび割れ注入工

S=Free



ひびわれ注入工 (0.2mm~0.9mm)

合計 10.4m

ひびわれ注入工 (1.0mm~1.9mm)

合計 7.6m

ひびわれ注入工 (2.0mm~5.0mm)

合計 1.9m

凡例

ひびわれ注入工 (0.20~2.20mm)	
幅(mm)-長さ(m)	

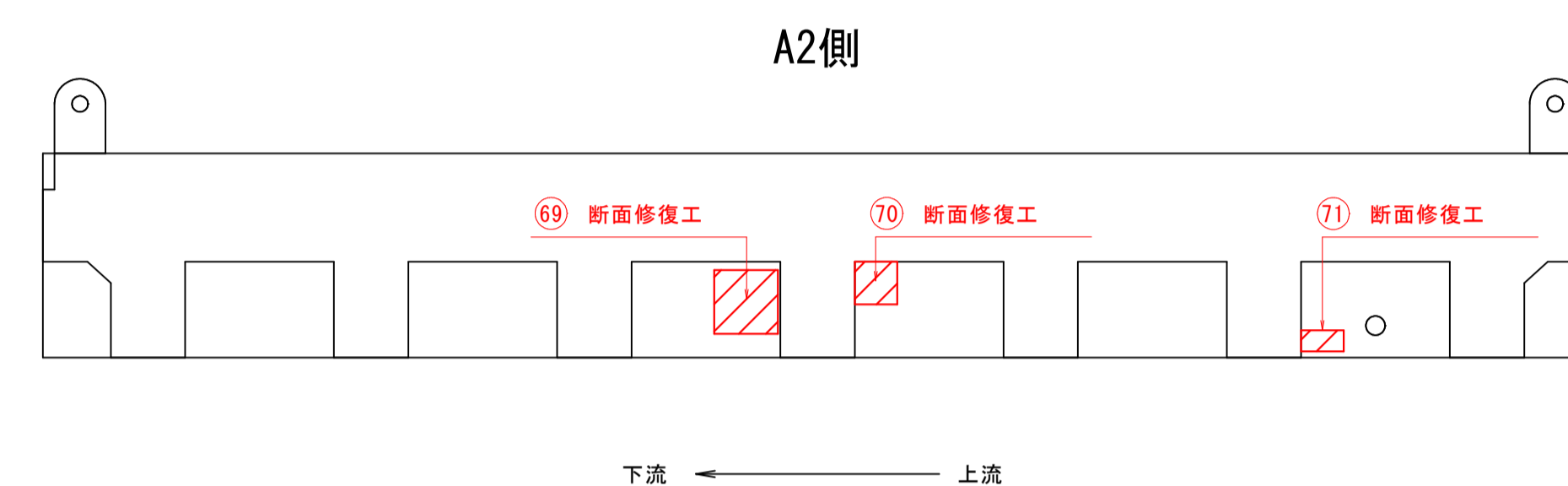
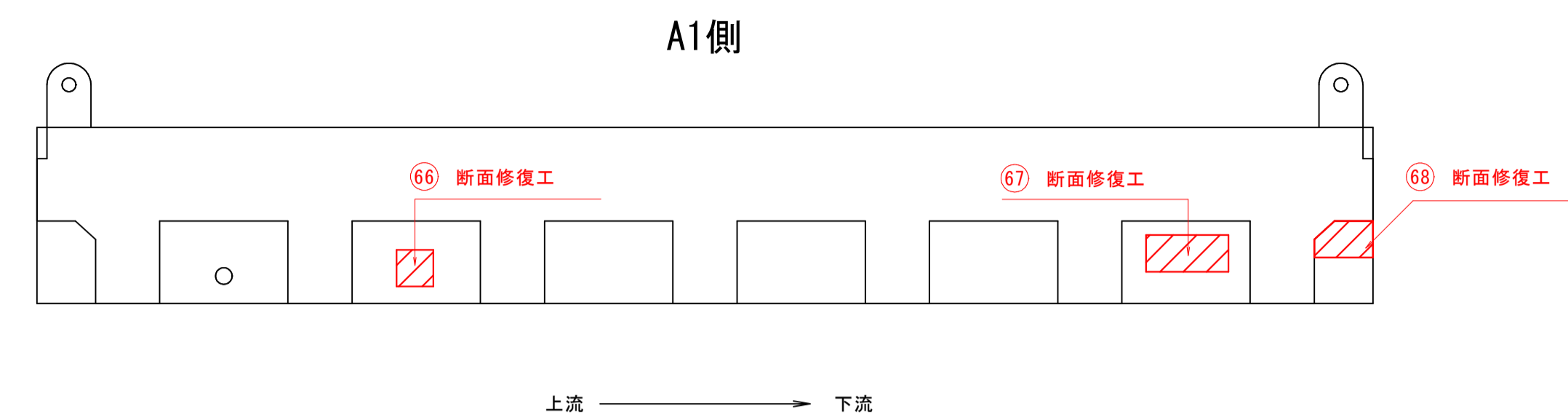
商蚕橋

図面番号	第 12 枚 内 4 号
図面名称	市道住の江4号線住宅前橋ほか2橋りょう補修工事 商蚕橋 上部工補修図1
縮 尺	図示 (A3版は表示縮尺の1/2に縮小表示)
製図年月日	令和 年 月 日
写図年月日	令和 年 月 日
米子市 都市整備部 道路整備課	

商蚕橋 上部工補修図2

断面修復工

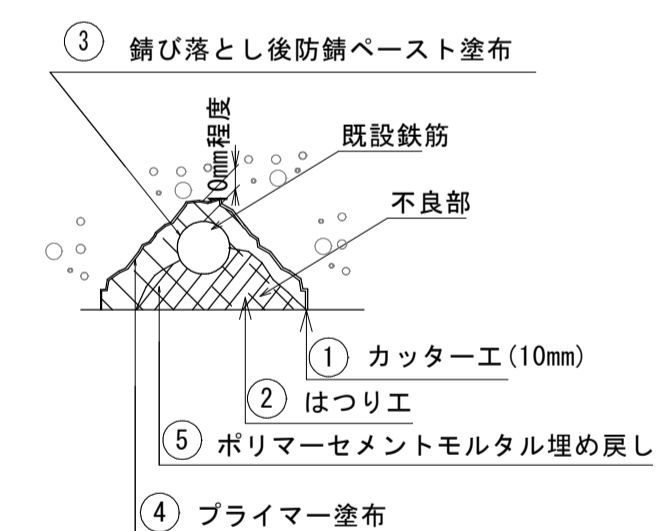
S=1:30



断面修復工（上部工）

合計 13.33㎡

断面修復工 S-Free



凡例

【断面修復工】（鉄筋あり）	
---------------	--

図面番号	第 12 枚内 5 号
図面名称	市道住の江4号線住宅前橋ほか2橋りょう補修工事 商蚕橋 上部工補修図2
縮尺	図示（A3版は表示縮尺の1/2に縮小表示）
製図年月日	令和 年 月 日
写図年月日	令和 年 月 日
米子市 都市整備部 道路整備課	

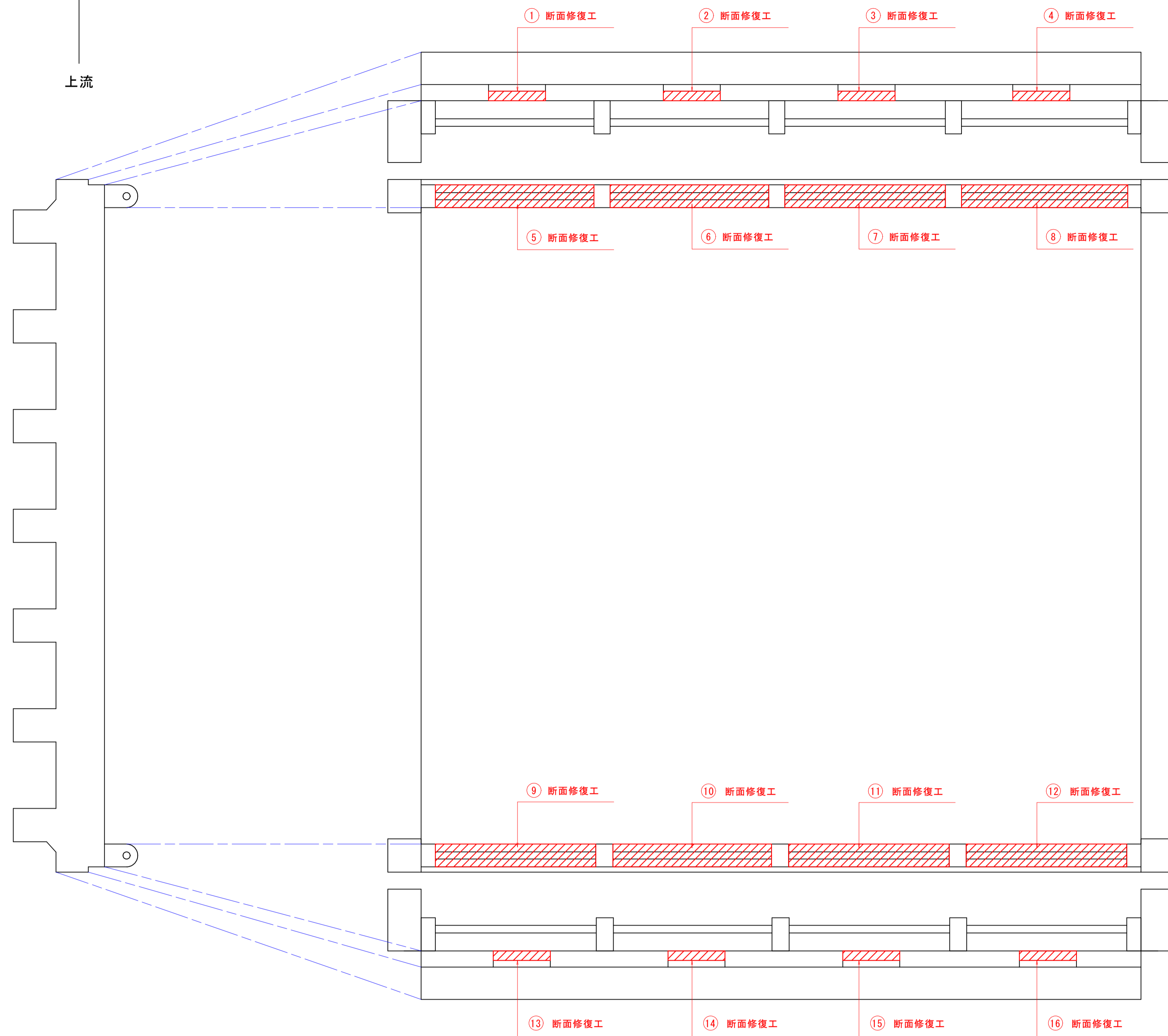
商蚕橋 上部工補修図3

断面修復工

S=1:30

下流

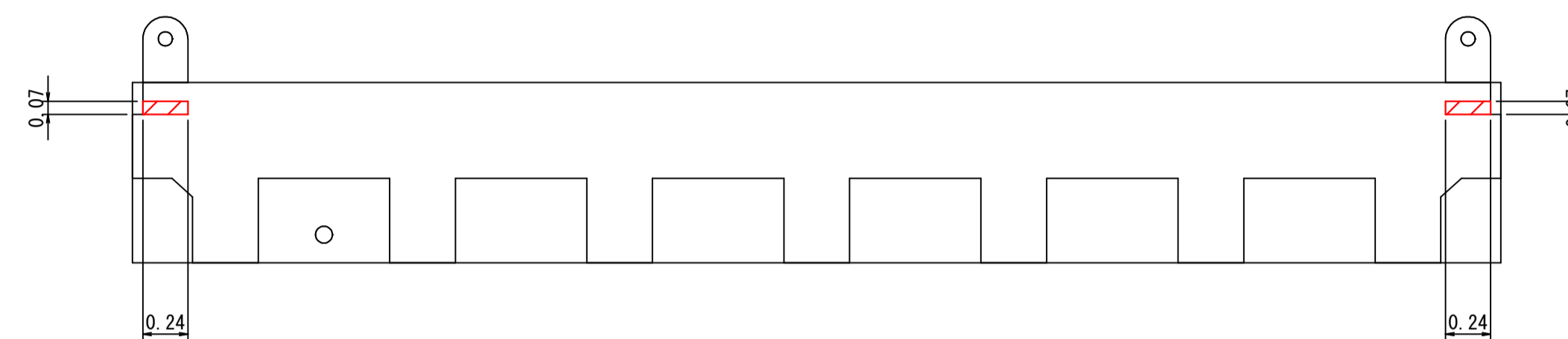
上流



断面修復工（地覆）

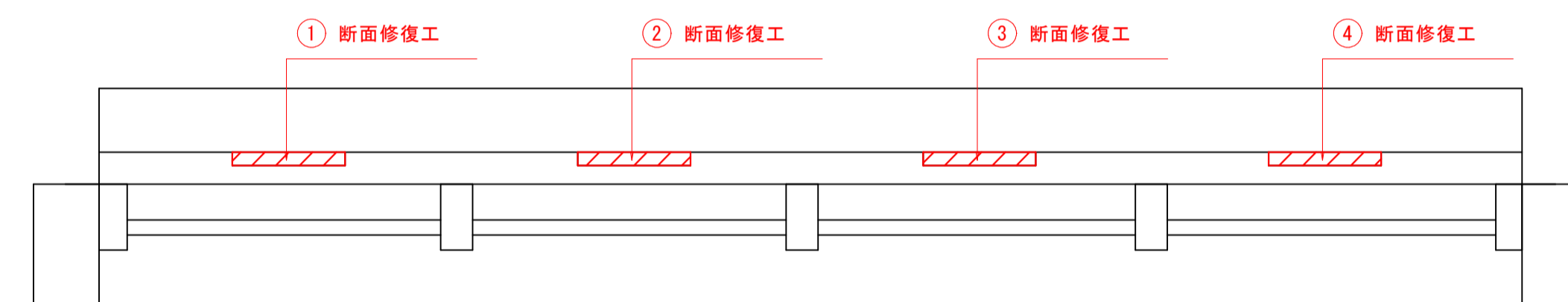
合計 3.74㎡

断面図

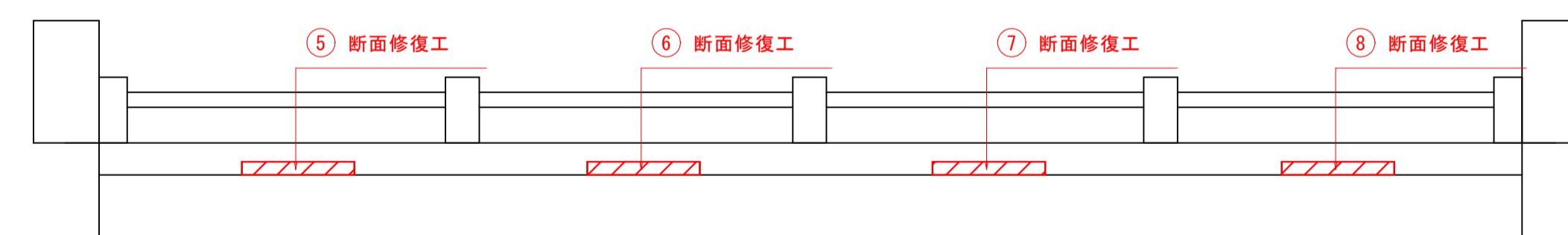


側面図

下流側



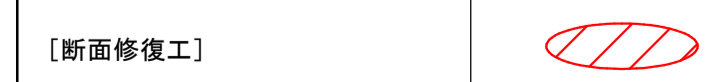
上流側



断面修復工（地覆 側面）

合計 0.32㎡

凡例



商蚕橋

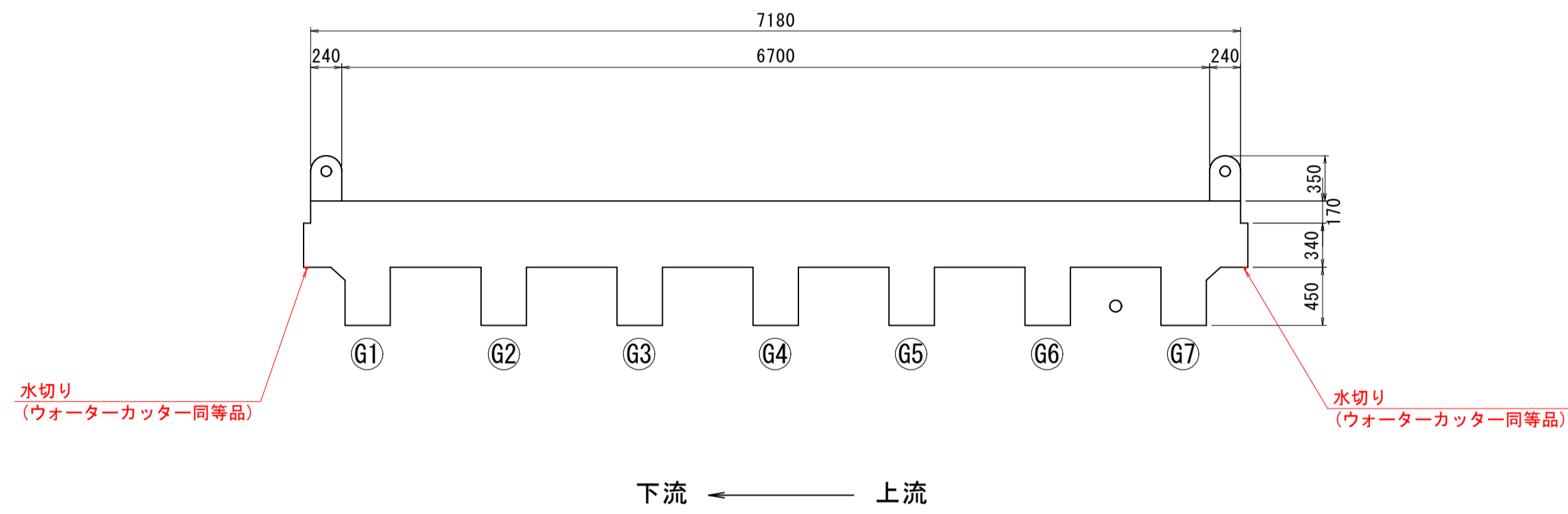
図面番号	第 12 枚内 6 号
図面名称	市道住の江4号線住宅前橋ほか2橋りょう補修工事 商蚕橋 上部工補修図3
縮 尺	図示 (A3版は表示縮尺の1/2に縮小表示)
製図年月日	令和 年 月 日
写図年月日	令和 年 月 日
米子市 都市整備部 道路整備課	

商蚕橋 路面工・水切り工図

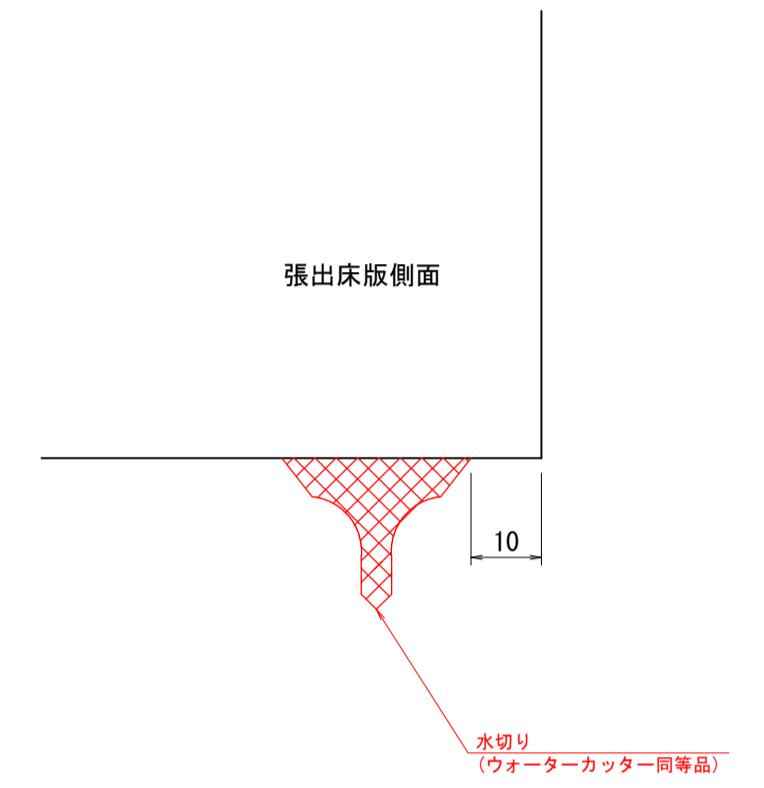
床版下面平面図 S=1:40



断面図 S=1:40



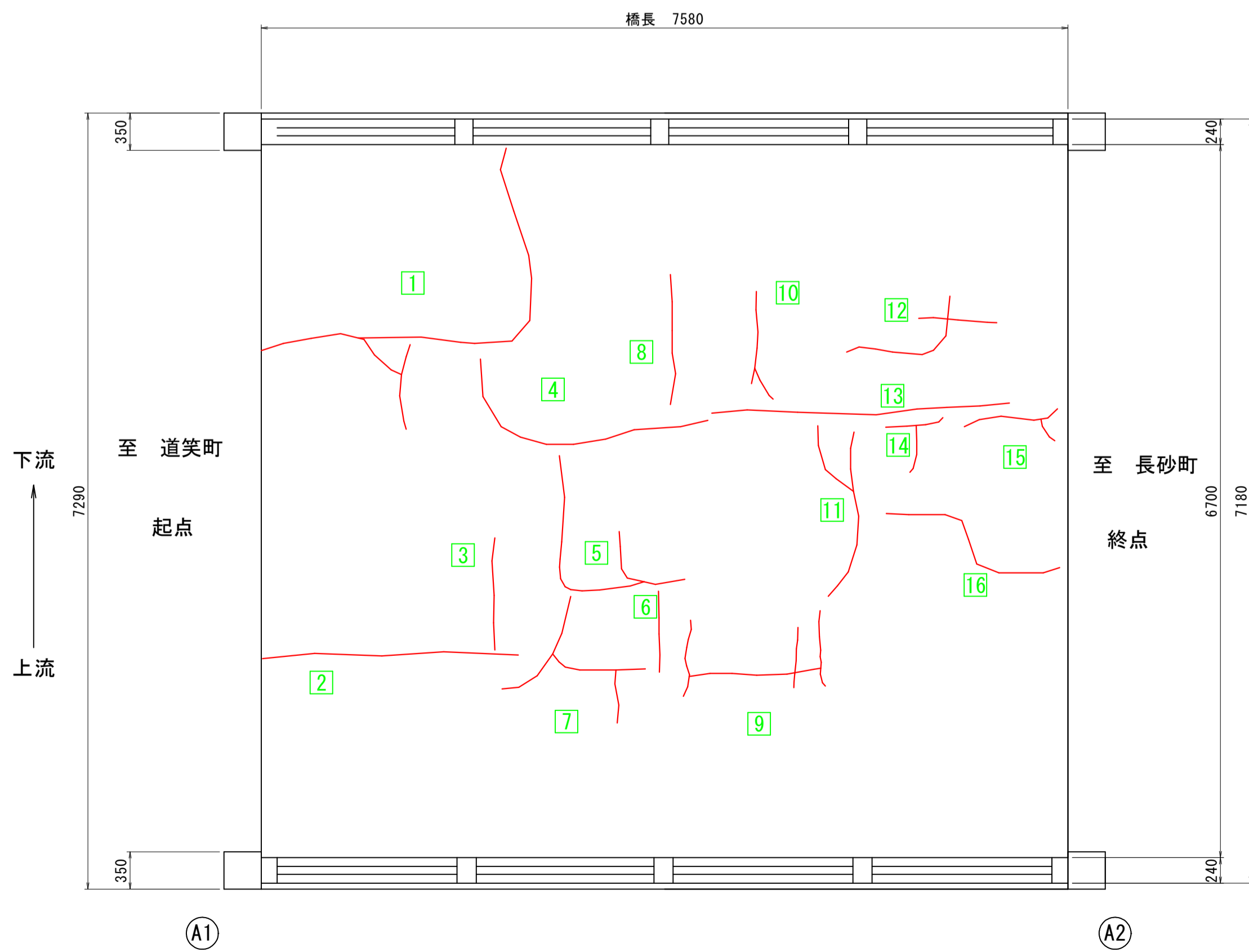
側面図 S=1:1



水切り 設置工
合計 15.2m

注記)
1. 水切り材は、断面修復の後に設置すること。
2. 設置前に、接着面の清掃をすること。

路面工平面図 S=1:40



舗装ひびわれ注入工数量表
合計 35.3m

凡例

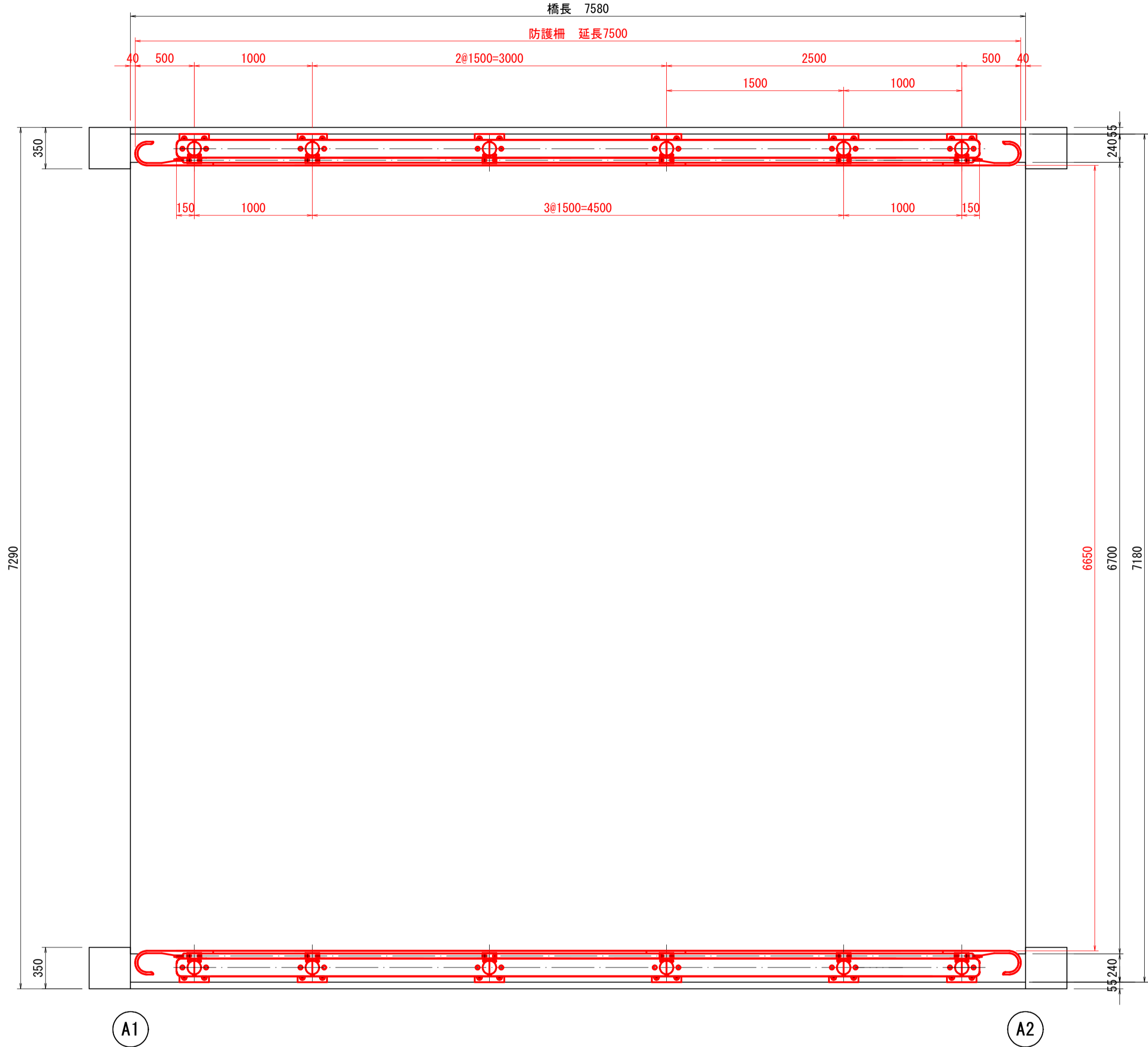
ひびわれ (0.2mm以上)		舗装ひびわれ注入工 加熱式ひびわれ注入工法
	幅mm - 長さm	

商蚕橋

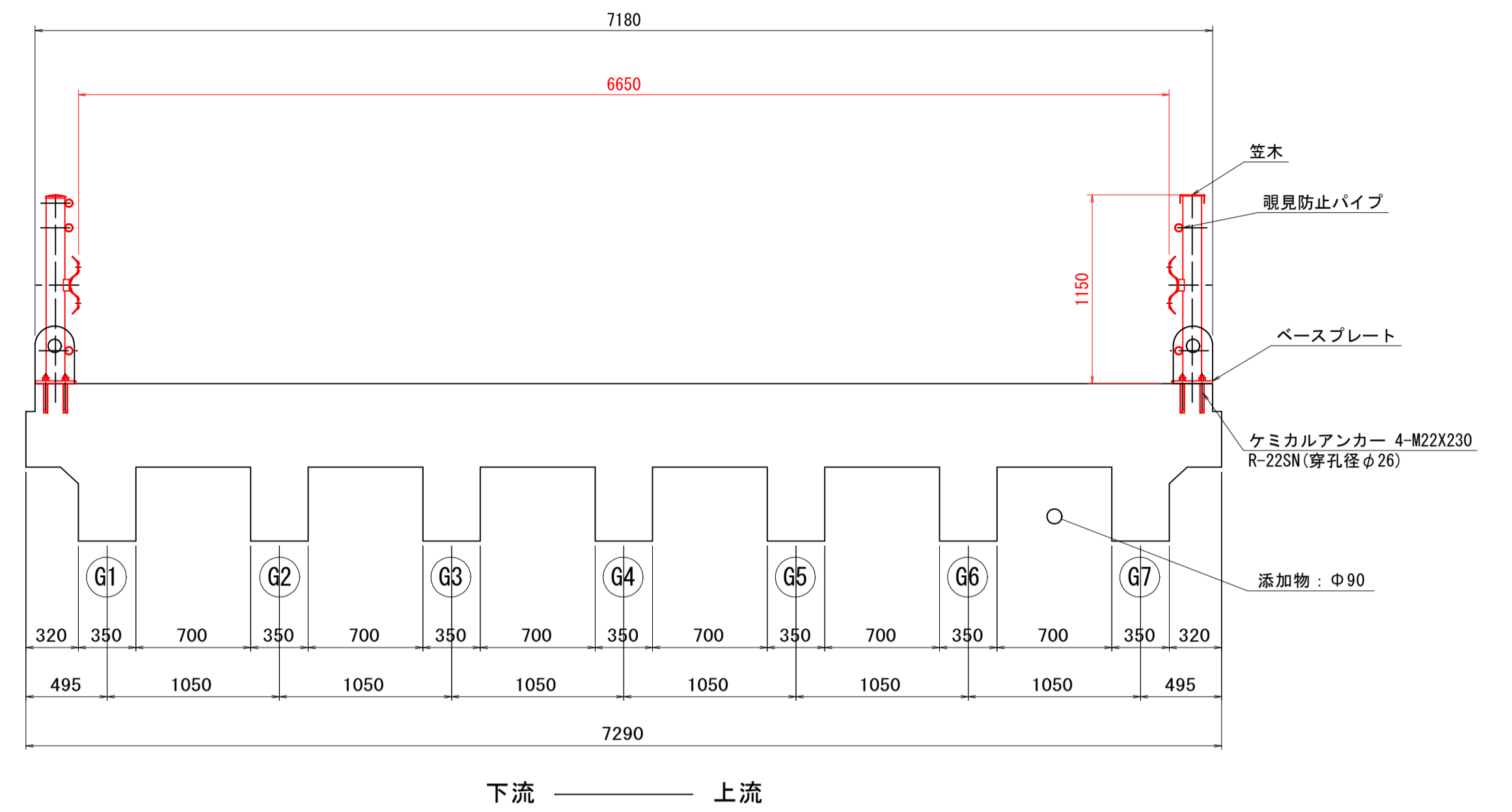
図面番号	第 12 枚内 7 号
図面名称	市道住の江4号線住宅前橋ほか2橋りょう補修工事 路面工・水切り工図
縮尺	図示 (A3版は表示縮尺の1/2に縮小表示)
製図年月日	令和 年 月 日
写図年月日	令和 年 月 日
米子市 都市整備部 道路整備課	

商蚕橋 防護柵取替工詳細図

平面図 S=1:30



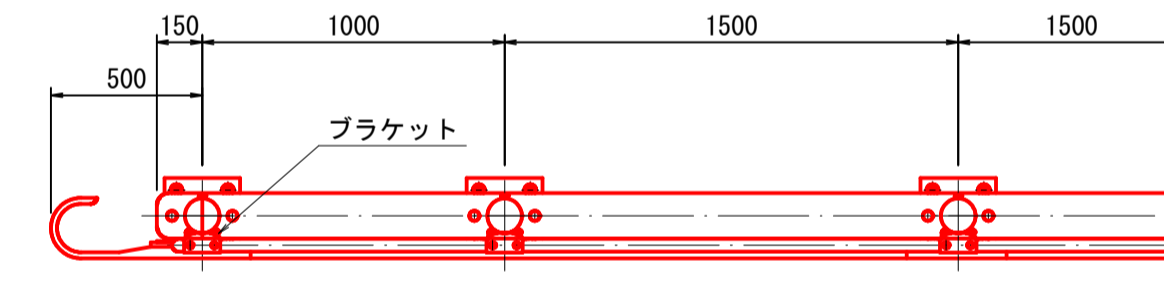
断面図 S=1:30



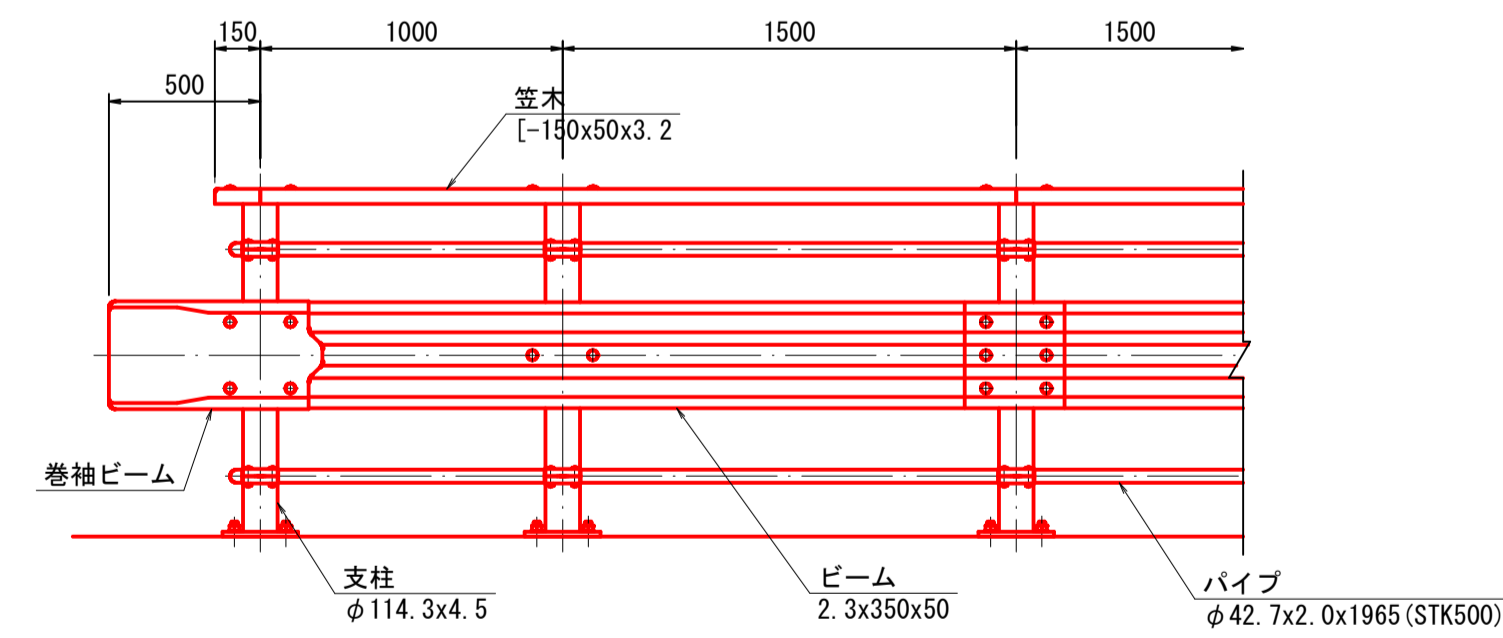
下流
上流

防護柵取付詳細図 S=1:25

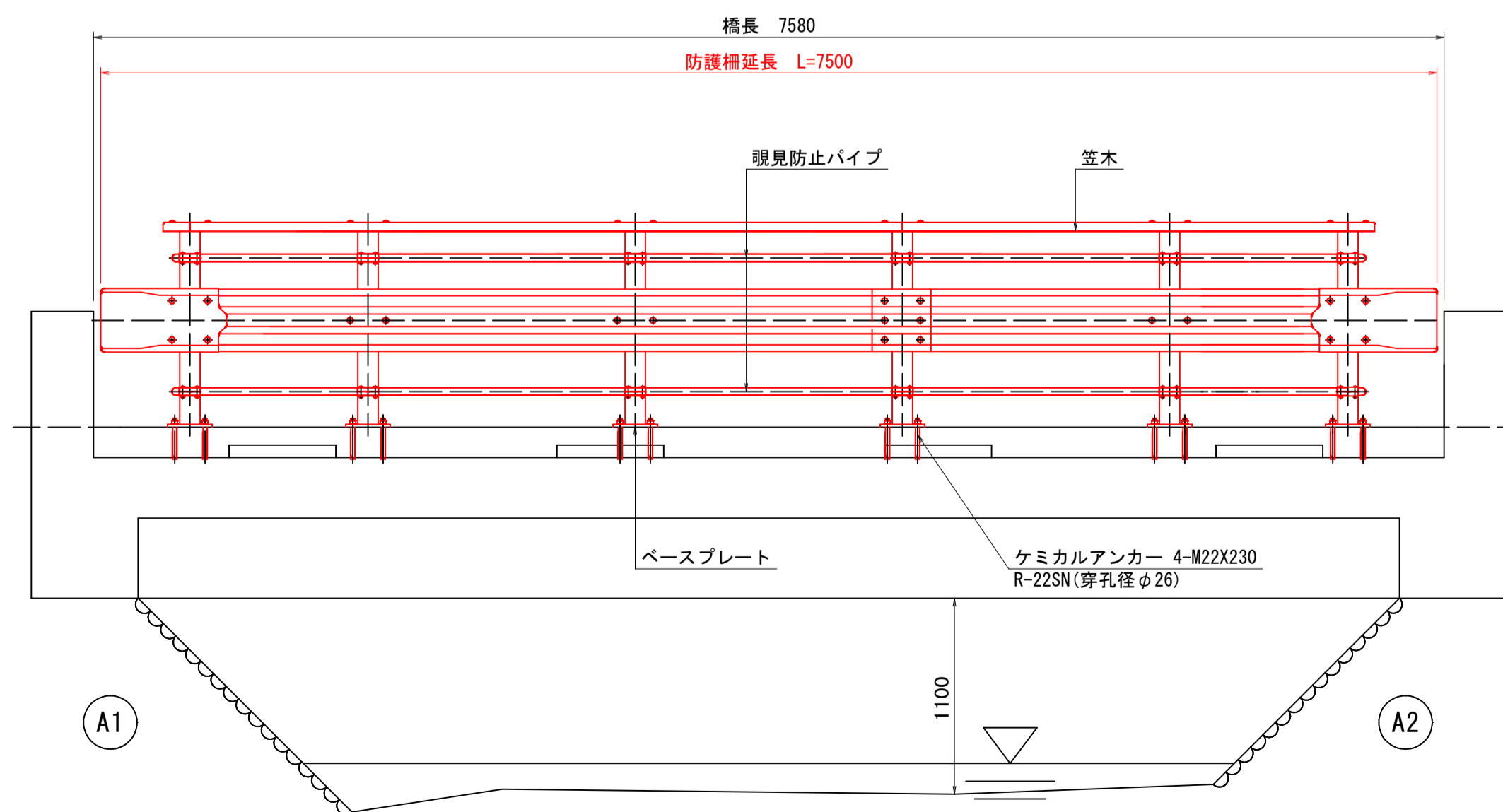
平面図



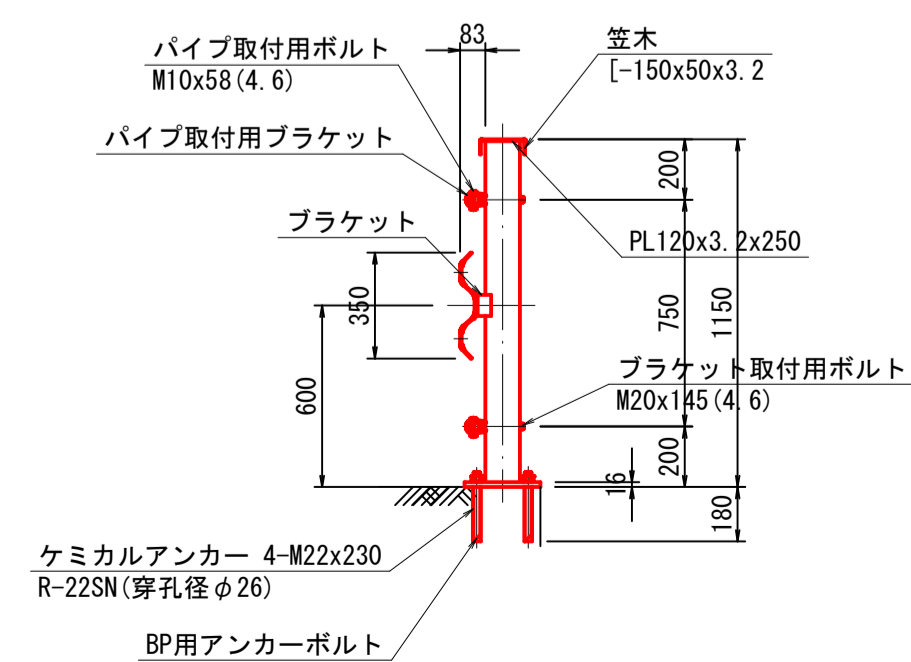
側面図



側面図 S=1:30



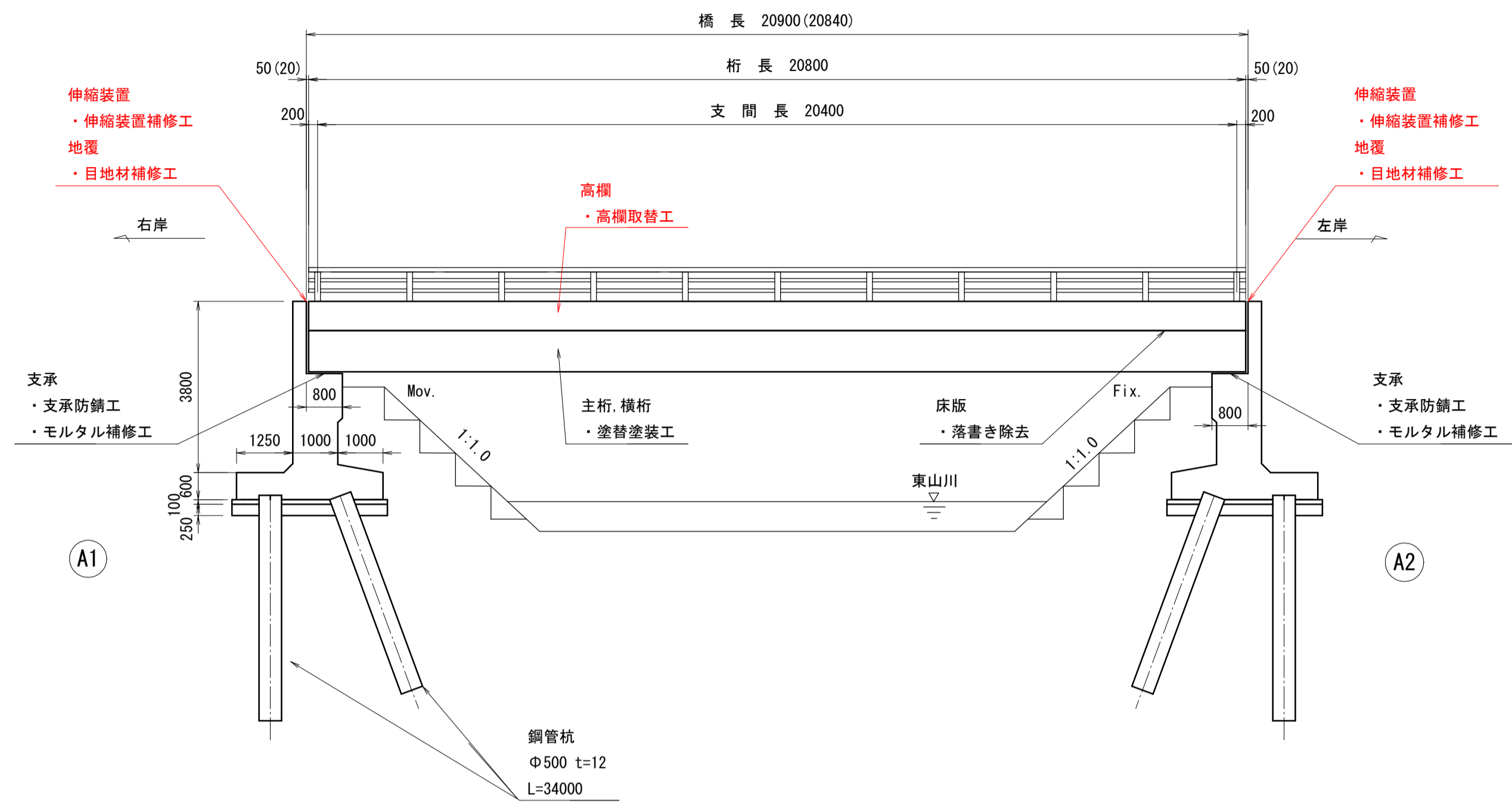
断面図



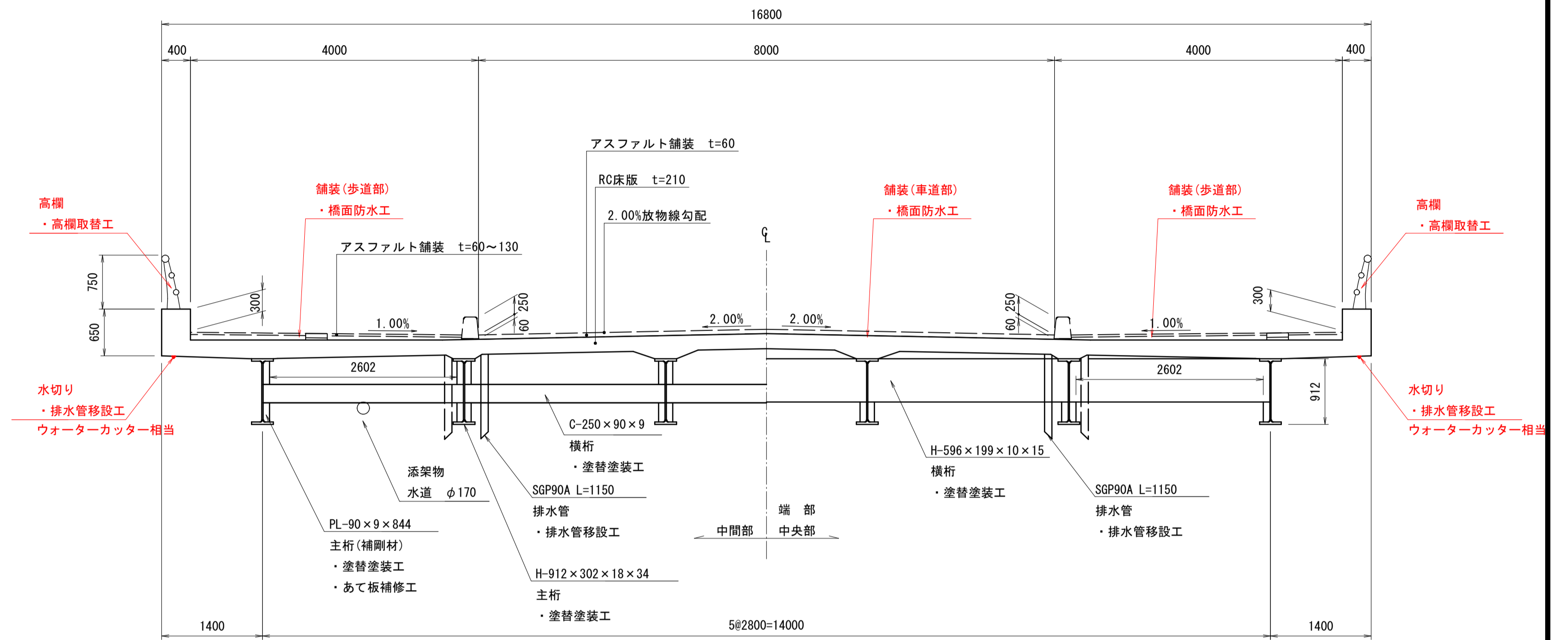
図面番号	第 12 枚内 8 号
図面名称	市道住の江 4 号線住宅前橋ほか 2 橋りょう補修工事 商蚕橋 防護柵取替工詳細図
縮 尺	図示 (A3版は表示縮尺の1/2に縮小表示)
製図年月日	令和 年 月 日
写図年月日	令和 年 月 日
製図者	米子市 都市整備部 道路整備課

足尾橋 補修一般図

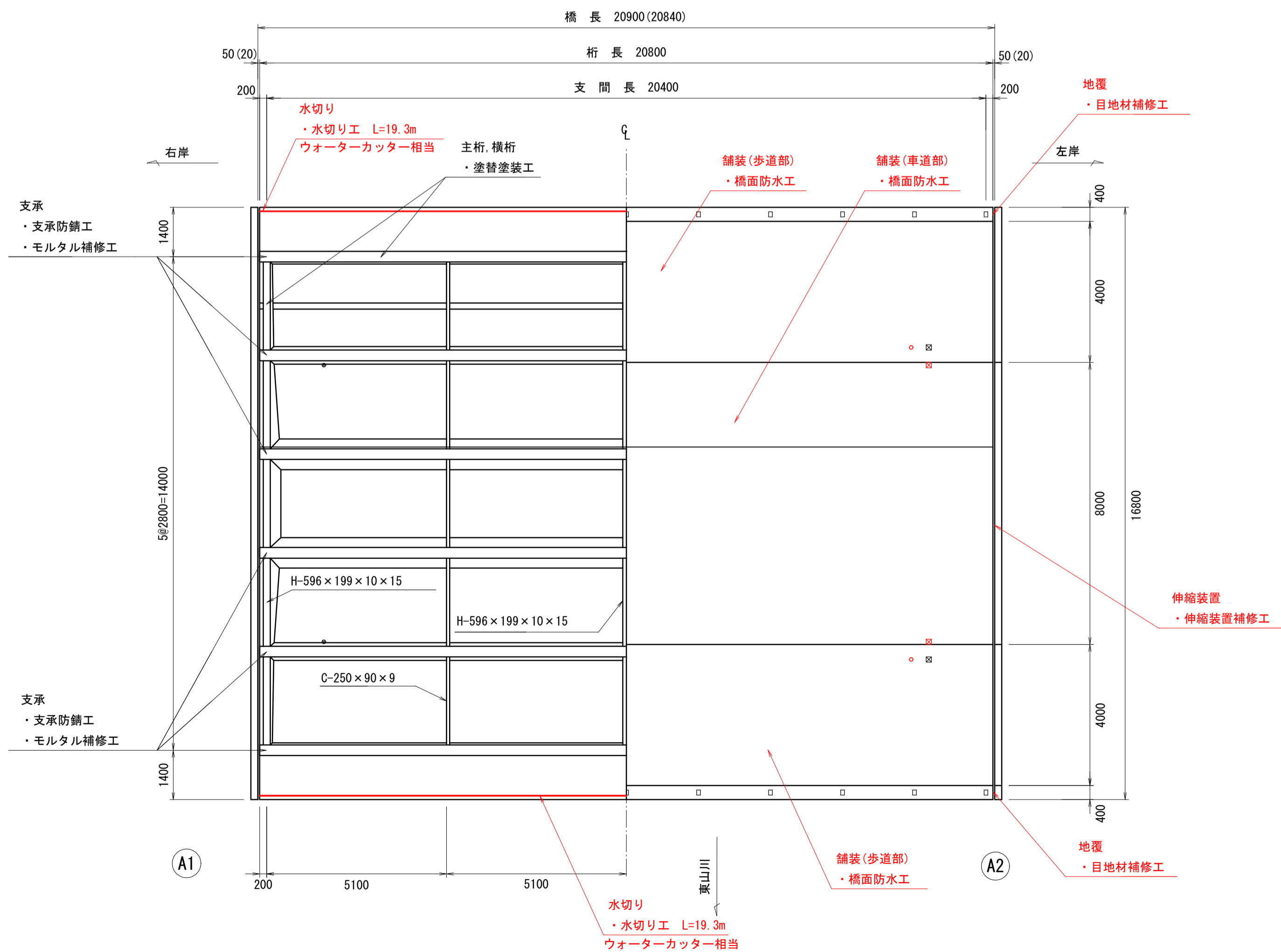
側面図 S=1:100



断面図 S=1:50



平面図 S=1:100



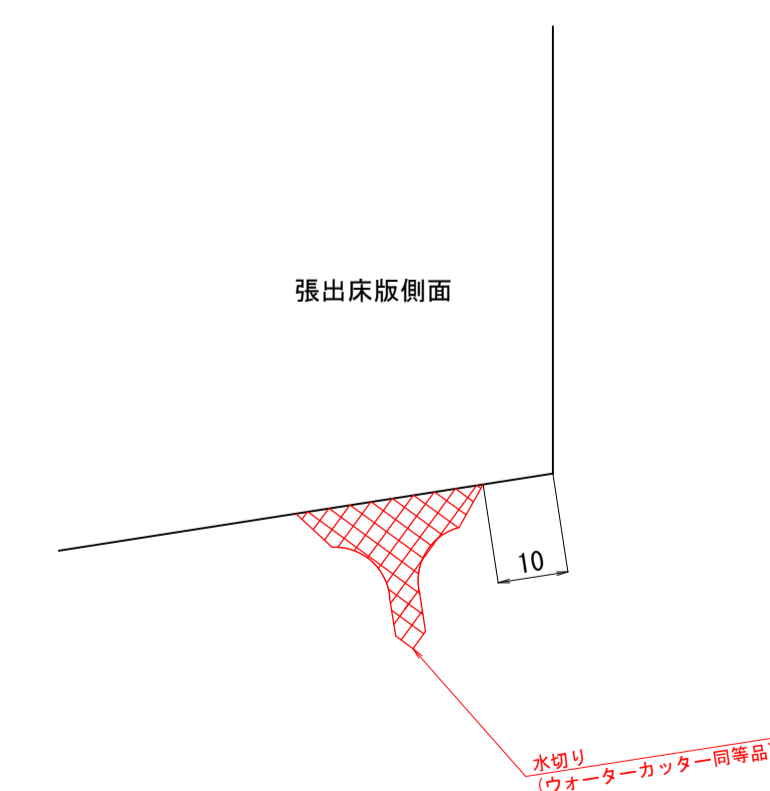
対策工法一覧表

対象部位	対策工	材料
橋面	橋面防水工	塗膜系防水層
高欄	高欄取替工	アルミ製
地覆	目地材補修工	シーリング材
伸縮装置	伸縮装置補修工	荷重支持型鋼製ジョイント

水切り設置工数量表

NO.	長さ (m)
橋下面	
上流側	19.30
下流側	19.30
合計 =	38.60

側面図 S=1:1



足尾橋

図面番号	第 12 枚内 9 号
図面名称	市道住の江 4 号線住宅前橋ほか 2 橋りよう補修工事 足尾橋 補修一般図
縮尺	図示 (A3版は表示縮尺の1/2に縮小表示)
製図年月日	令和 年 月 日
写図年月日	令和 年 月 日
米子市 都市整備部 道路整備課	

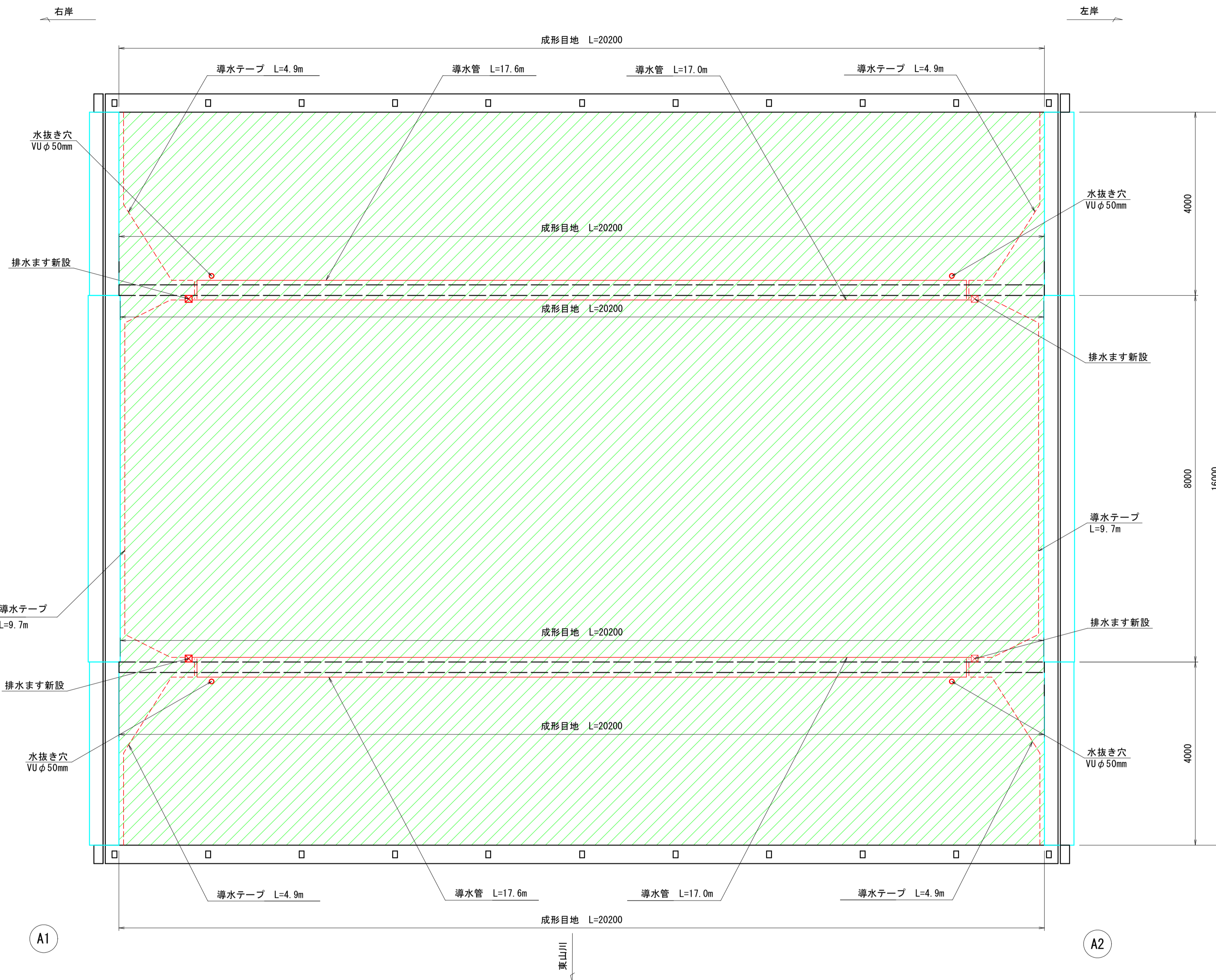
足尾橋 路上部補修図 (1)

<橋面防水工>

舗装構成詳細図

S=1:5

橋面 S=1:60



車道部

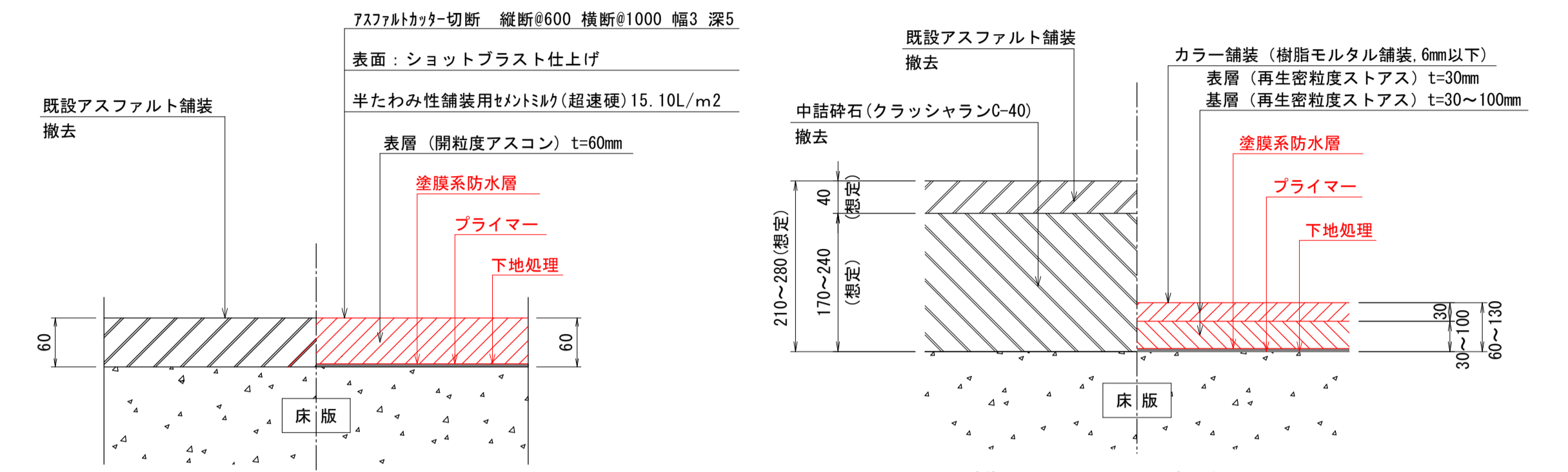
歩道部

現況

計画

現況

計画



※積算上は、切削50mm+舗装版破砕(人力施工)10mmとして計上している。

※舗装厚は現地状況に応じて変更すること。

橋面防水工 数量表

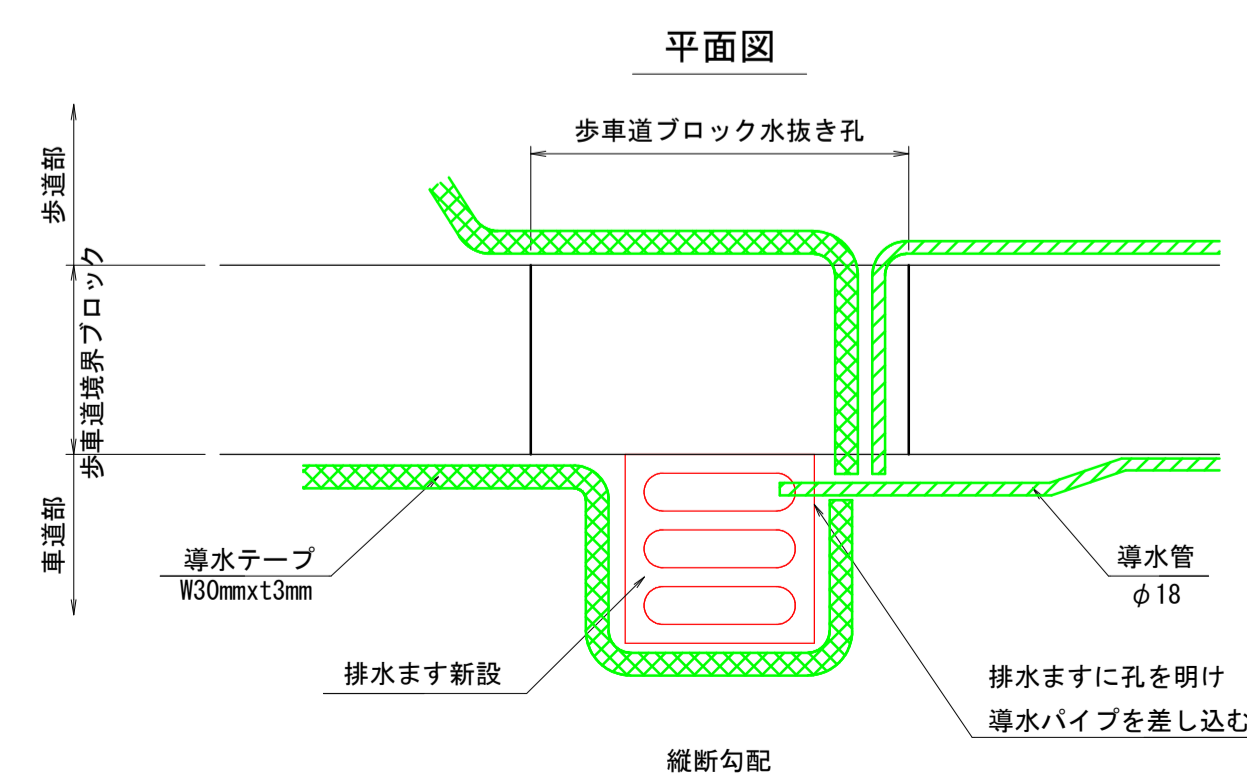
工種	規格	単位	数量
橋面防水工	塗膜系防水層	m ²	323.3
導水管	φ18	m	69.2
導水テープ	幅30mm×厚3mm	m	39.0
成形目地材	幅30mm×厚5mm	m	121.2

- ※1. 「防水層」は、全周舗装厚分立ち上げて設置すること。
「防水層」と同等の性能を有する端部処理をおこなう場合は、この限りでない。
- ※2. 車道及び歩道横断部の導水管は、舗装ひびわれを防止するため、導水テープ (W30mm×t3mm) を用いる。
- ※3. 歩車道境界ブロックの水抜き孔は、排水ます箇所にて、防水層、導水パイプ、導水テープを設置後は、アスファルトにて舗装高さまで埋めること。
- ※4. 施工は歩道部防水層敷設、歩車道境界ブロック設置、車道部防水層敷設の順で行うこと。その際、歩道防水層は車道側に100~200mm延ばして敷設すること。

注) 必ず施工前に試掘を行い、床版上面の防水層の有無を確認すること。

排水ます接続部詳細図

S=1:10

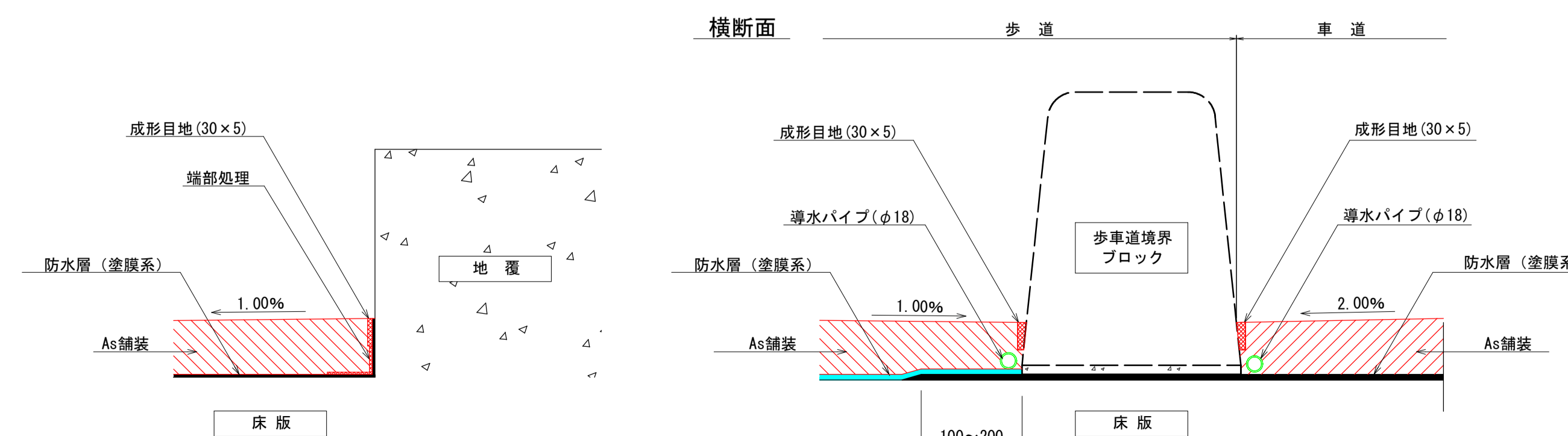


※1. 集水溝、排水管については詳細を検討のうえ施工を行うこと。

※2. 床版を削孔する際には鉄筋探査を行い既存の鉄筋を破断しないよう留意すること。

橋面防水工端部処理詳細図

S=1:5

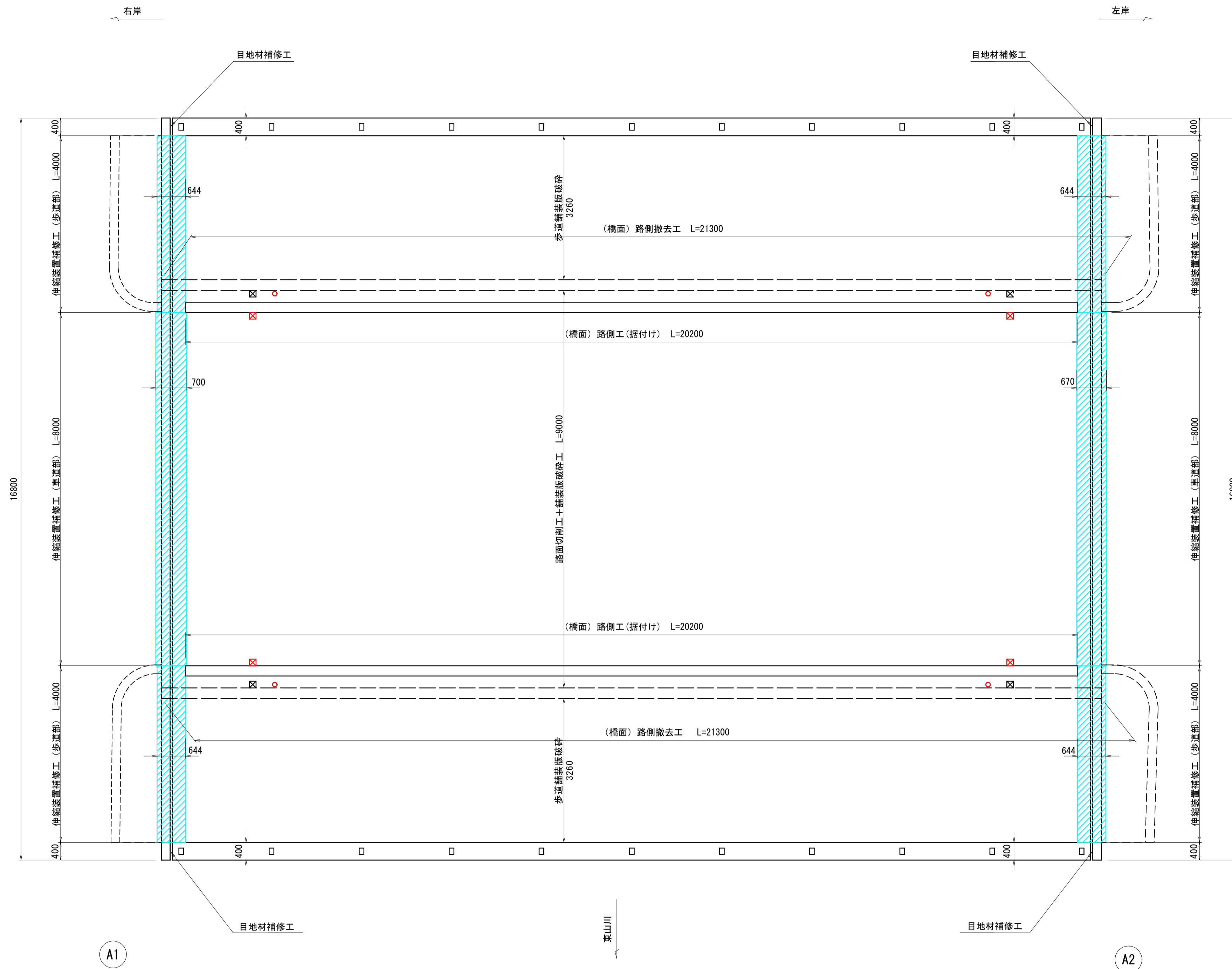


足尾橋	
図面番号	第 12 枚内 10 号
図面名称	市道住の江 4 号線住宅前橋ほか 2 橋りょう補修工事 足尾橋 路上部補修図 (1)
縮尺	図示 (A3版は表示縮尺の1/2に縮小表示)
製図年月日	令和 年 月 日
写図年月日	令和 年 月 日
米子市 都市整備部 道路整備課	

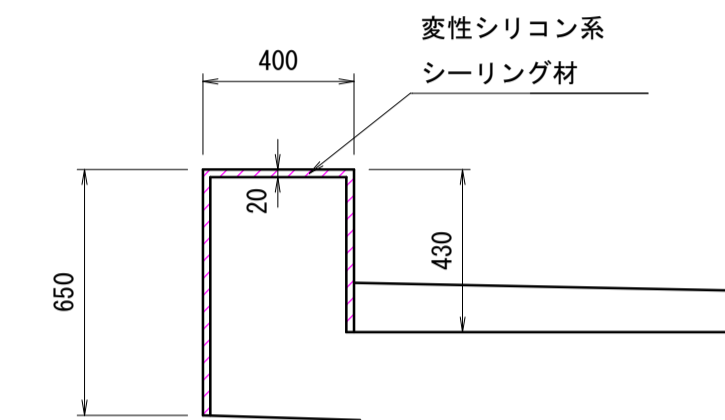
足尾橋 路上部補修図 (2)

＜伸縮装置補修工, 目地材補修工, 舗装撤去工, 路側撤去工＞

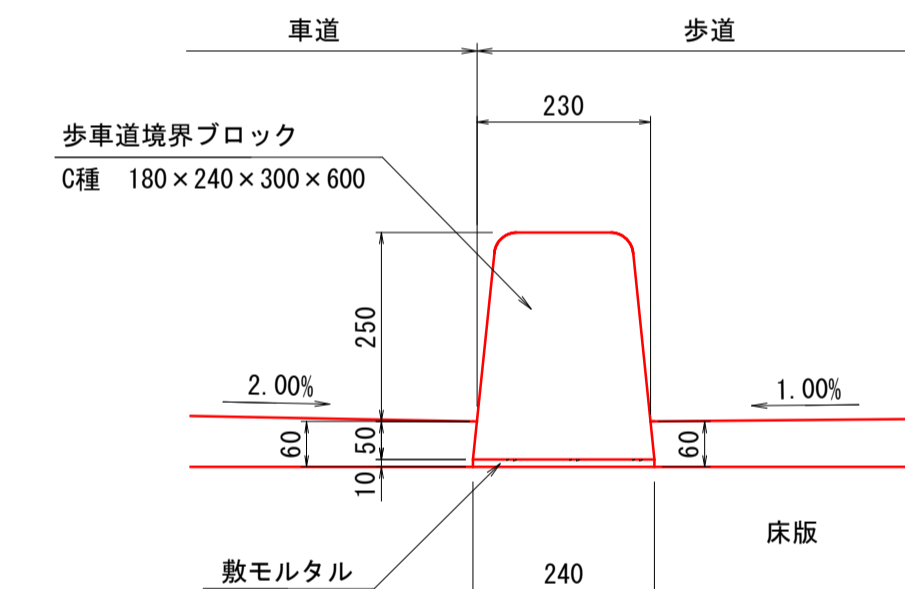
橋面 S=1:60



目地材補修工 S=1:20



歩車道境界ブロック C種 (橋梁上) S=1:10



名称	規格・寸法	単位	数量
境界ブロック	C種 L=600	個	16.500
敷モルタル	1:3	m ³	0.024

伸縮装置補修工 数量表

工種	規格	単位	数量
伸縮装置設置工	車道部: 荷重支持型鋼製ジョイント	m	16.0
	歩道部: 歩道用ジョイント	m	16.0
伸縮装置	車道部: 除雪対応型 伸縮量40mm	m	8.0
	車道部: 除雪対応型 伸縮量20mm	m	8.0
	歩道部: 伸縮量40mm	m	16.0
搬運搬	コンクリート塊(有筋)	m ³	2.8
処分		t	7.0

目地材補修工 数量表

工種	規格	単位	数量
目地材補修工	変性シリコン系シーリング材	L	2.3

舗装撤去工 (橋面) 数量表

工種	規格	単位	数量
路面切削工	平均切削深さ6cm以下 全面切削	m ²	181.8
舗装版破砕工	As舗装版 人力施工 (t=1cm)	m ²	181.8
	As舗装版 機械施工 (t=4cm)	m ²	131.7
砕石撤去		m ³	27.0
残土処理工		m ³	27.0
アスファルト塊運搬	切削殻	m ³	9.1
	破砕殻	m ³	7.1
アスファルト処分	2.35t/m ³	t	38.1

※舗装厚は現地状況に応じて変更すること。

路側撤去工 数量表

工種	規格	単位	数量
撤去	歩車道境界ブロック撤去	m	42.6
据付け	歩車道境界ブロック設置 C種		
	基礎砕石・均しコンクリート無	m	40.4
	歩車道境界ブロック設置 切下げタイプ	m	17.6
搬運搬	コンクリート塊(無筋)	m ³	1.4
処分	既設歩車道境界ブロック	t	3.3

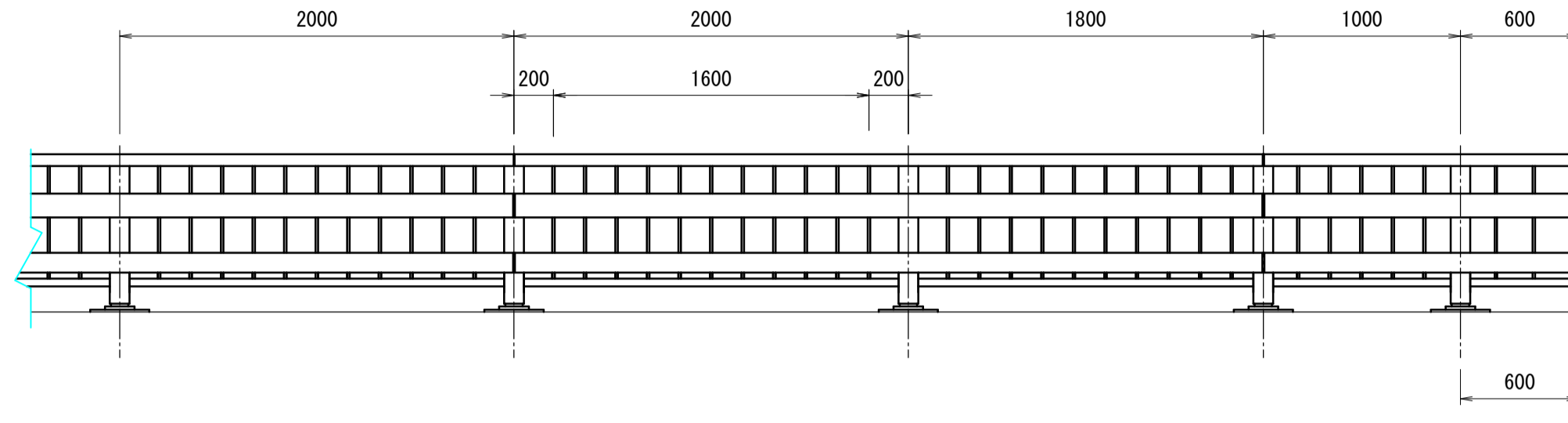
足尾橋

図面番号	第 12 枚 内 11 号
図面名称	市道住の江4号線住宅前橋ほか2橋りょう補修工事 足尾橋 路上部補修図 (2)
縮尺	図示 (A3版は表示縮尺の1/2に縮小表示)
製図年月日	令和 年 月 日
写図年月日	令和 年 月 日
米子市 都市整備部 道路整備課	

足尾橋 路上部補修図 (3)

<高欄取替工>

姿図 S=1:30
(矢視A)



防護柵設置工 数量表

工種・材料	規格	単位	数量
撤去延長		m	41.6
現場発生品運搬	30kg/mにて算出	t	1.2
設置延長	アルミ製高欄(角型)	m	41.6
鉄筋探査工	下向き	m ²	4.8

注記 1. 記入寸法はアンカーセンター押さえとし、実長で示す。
2. 図中○印は支柱取付位置を示し、+印は横梁材継手部を示す。

防護柵総延長 41M600

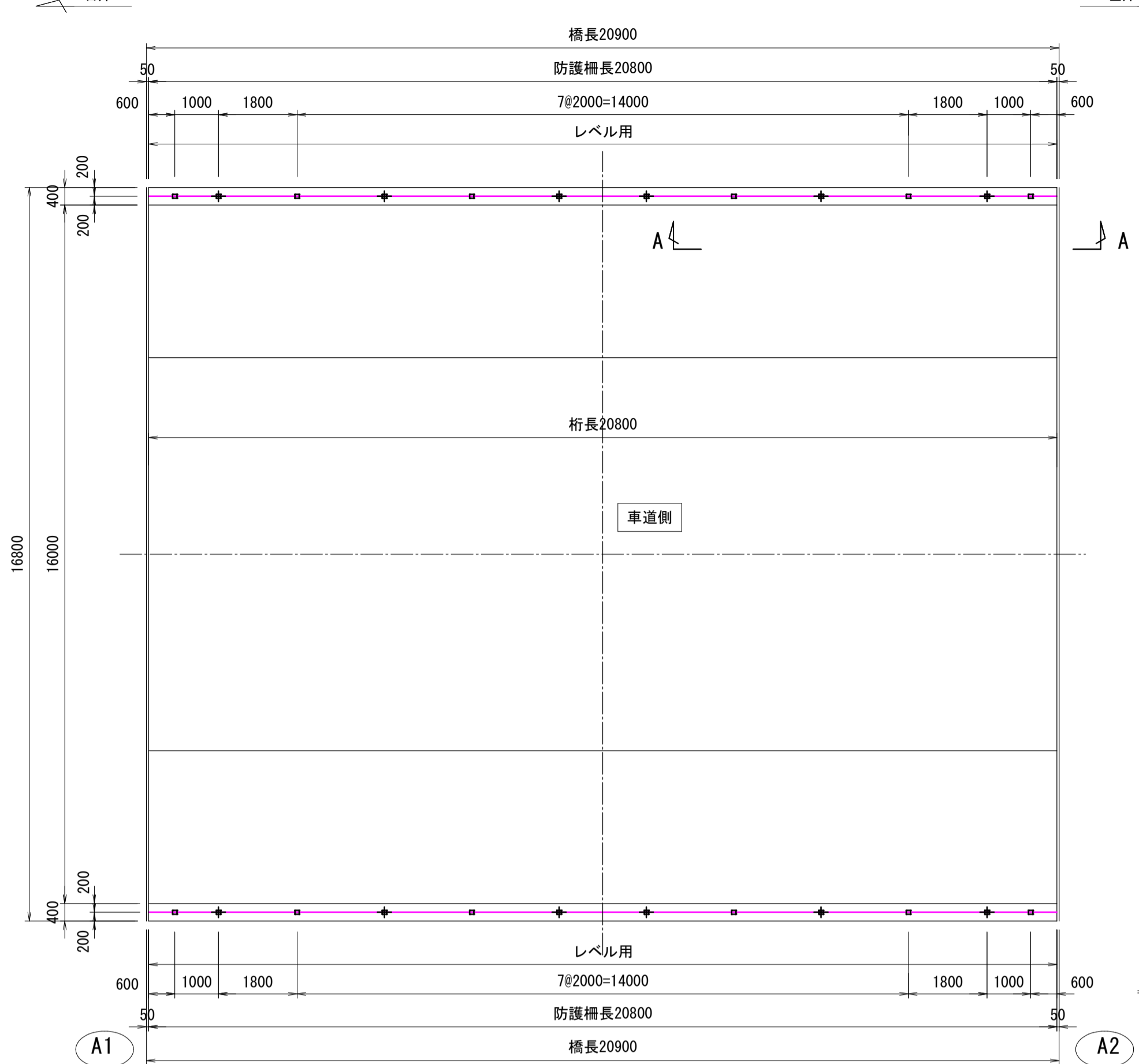
材料表

(12M当たり)

部番	名称	寸度	数量	単重	1本当	総重量	材質	備考
1	主要横梁	3990.0	3	6.671	26.62	79.9	A6061S-T6	
2	下段横梁	3990.0	3	3.558	14.20	42.6	A6061S-T6	
3	トップレールA	3995.0	3	1.979	7.91	23.7	A6063S-T6相当	
4	トップレールB	1995.0	6	0.891	1.78	10.7	A6063S-T6相当	
5	支柱	706.0	6	6.492	4.58	27.5	A6061S-T6	
6	主要スリーブ	50.0	3	7.589	0.38	1.1	A6061S-T6	
7	主要スリーブ	300.0	3	7.589	2.28	6.8	A6061S-T6	
8	下段スリーブ	50.0	3	4.902	0.25	0.8	A6061S-T6	
9	下段スリーブ	300.0	3	4.902	1.47	4.4	A6061S-T6	
10	トップレール	220.0	6	3.084	0.68	4.1	A6063S-T5	
11	トップレート	43.0	6	4.706	0.20	1.2	A6063S-T5	
12	パラスター	585.0	66	0.362	0.21	14.0	A6063S-T5	
13	ボトムレール	1892.0	6	0.824	1.56	9.4	A6063S-T6相当	
14	ボトムシート	50.0	12	1.171	0.06	0.7	A6063S-T5	
15	六角ボルト	M12x40	12		0.06	0.7	SUS	W1, SW1
16	六角ボルト	M12x120	6		0.13	0.8	SUS	W1, SW1
17	六角ボルト	M12x30	24		0.05	1.2	SUS	W1, SW1
18	六角ボルト	M16x130	6		0.26	1.6	A2-70 SUS	W1, SW1
19	六角ボルト	M16x35	12		0.11	1.3	SUS	W1, SW1
20	十字穴付き六角ボルト	M5x16	12		0.004	-	SUS	W1, SW1
21	なべタッピンネジ	M6x20	24		0.01	0.2	SUS	
22	トラスタッピンネジ	M5x16	24		0.003	0.1	SUS	
23	トラスタッピンネジ	M4x16	36		0.002	0.1	SUS	
24	なべタッピンネジ (2種)	M4x20	264		0.002	0.5	SUS	
25	ベースポスト		6		13.22	79.3	SS400	
26	全ネジアンカーボルト	M20x305	12		0.75	9.0	SCM435	N1, φ44W1, SW1
27	全ネジアンカーボルト	M20x260	12		0.68	8.2	SS400	N1, φ44W1, SW1
28	樹脂カプセルアンカー	AP-20L相当品	12		-	-		
29	樹脂カプセルアンカー	AP-20相当品	12		-	-		
総重量							329.9	kg
M当り							27.5	kg/M (端部は除く)

平面図

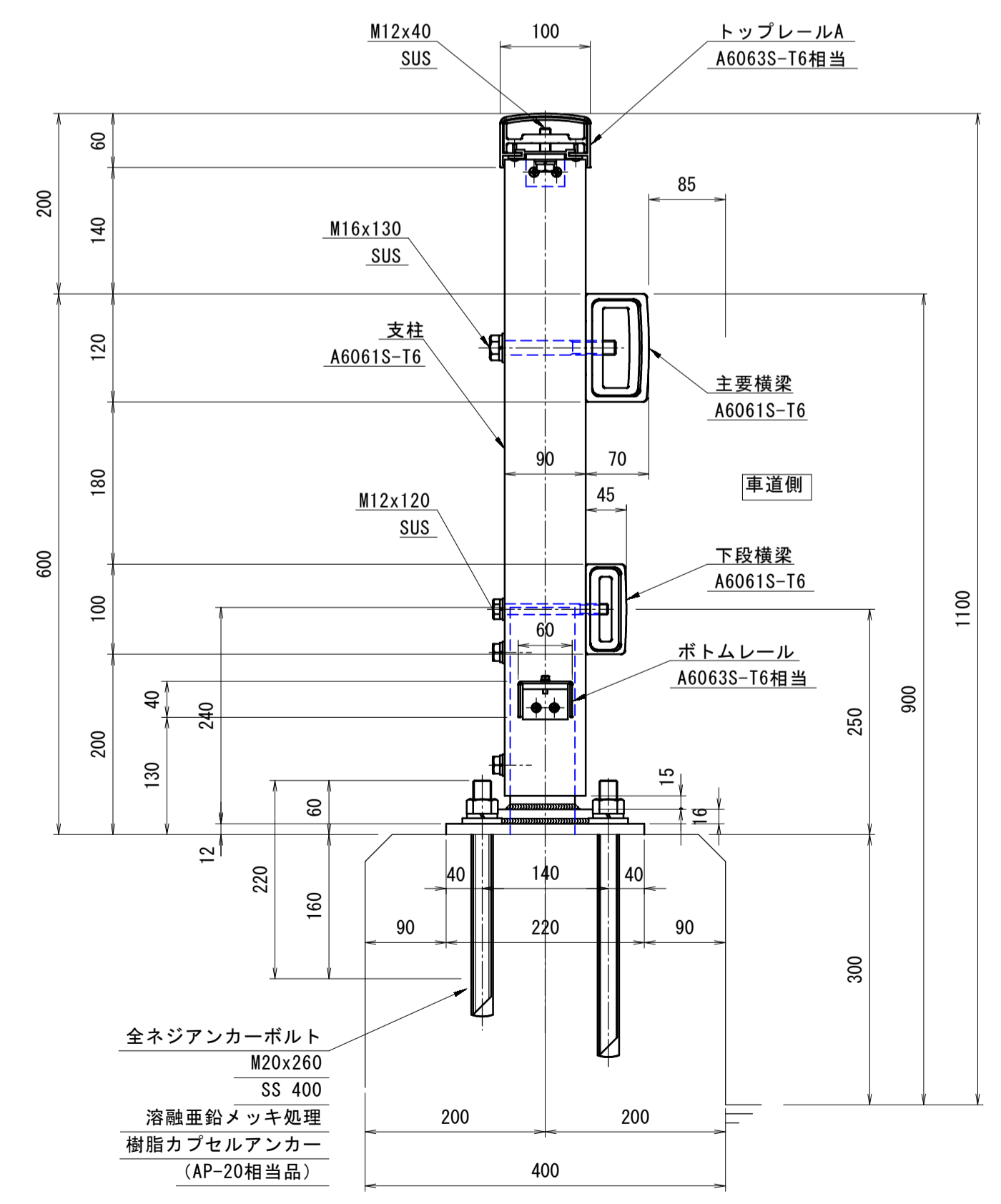
S=1:100



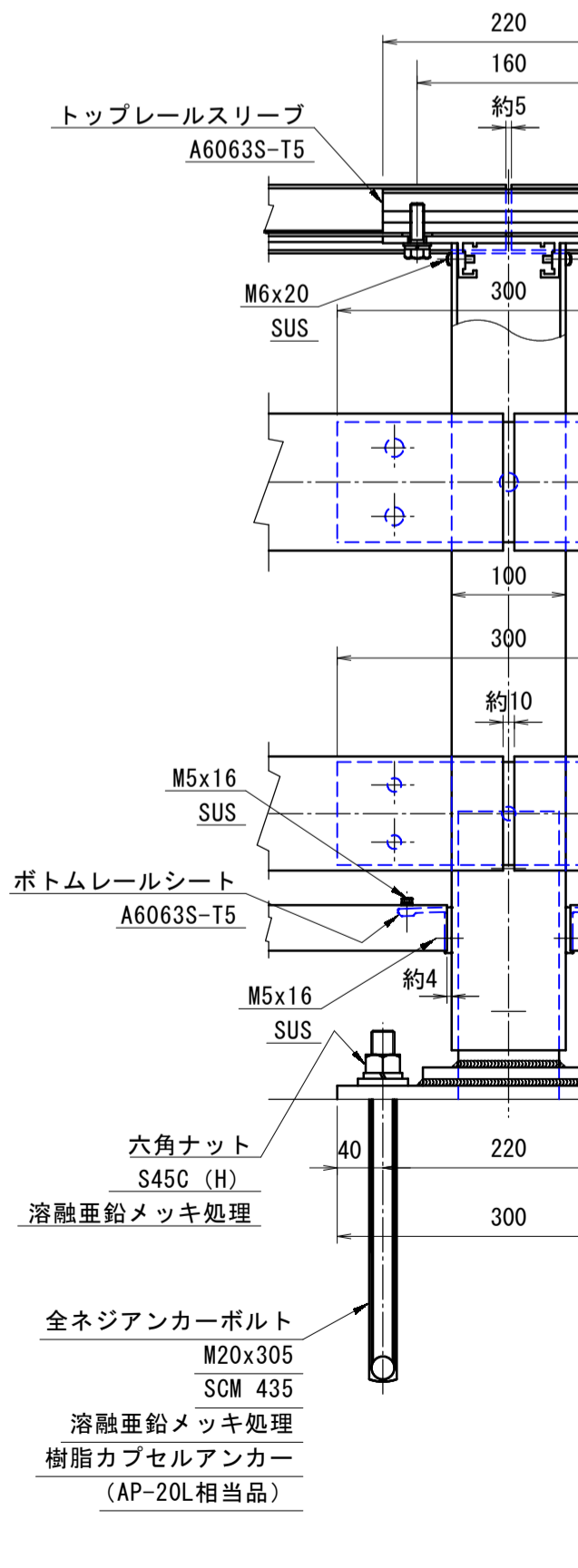
高欄兼用車両用防護柵取付詳細図

S=1/6

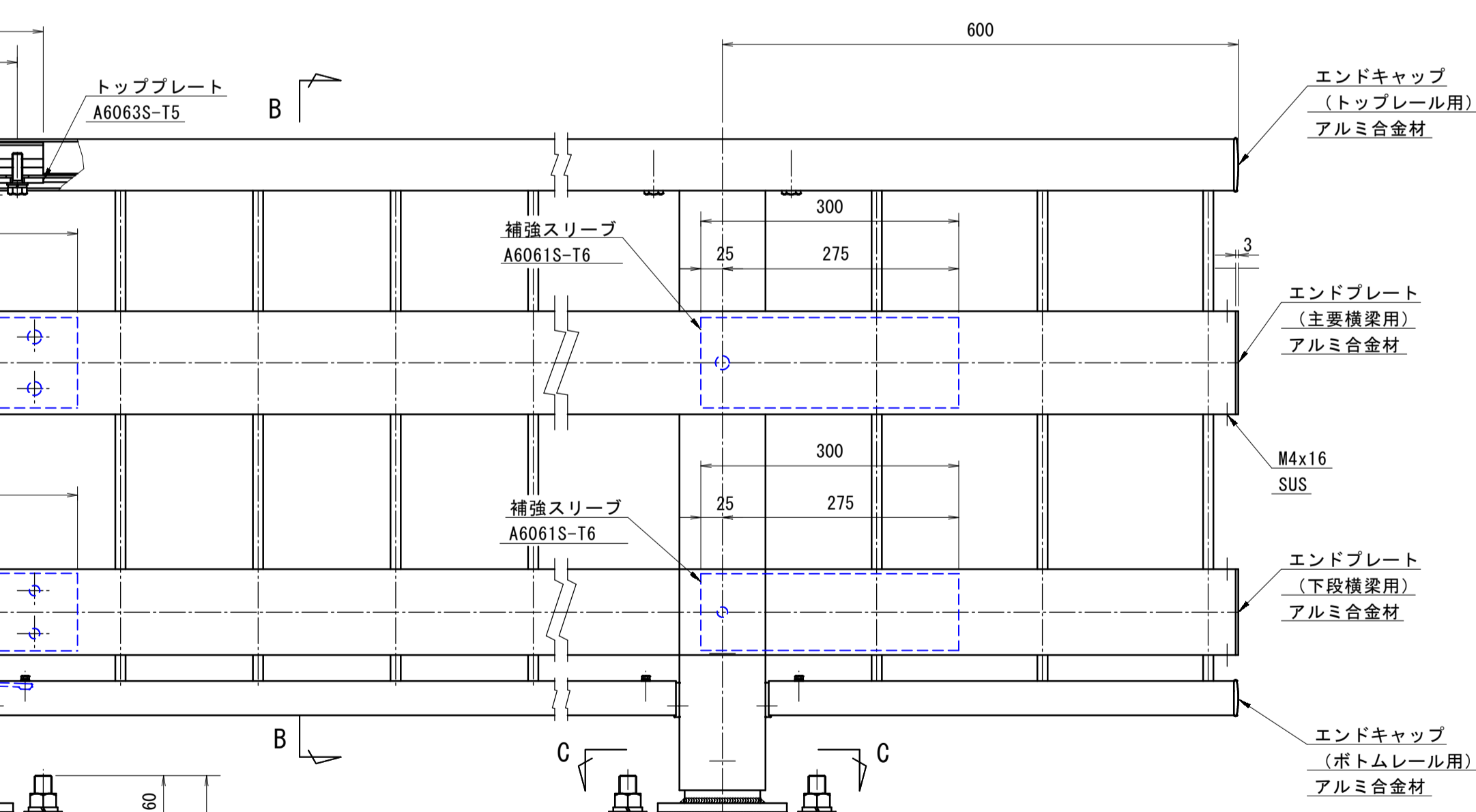
種別 C種



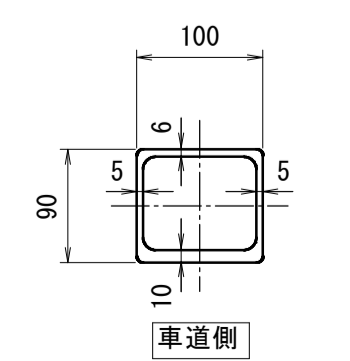
継手部



端部



支柱断面図

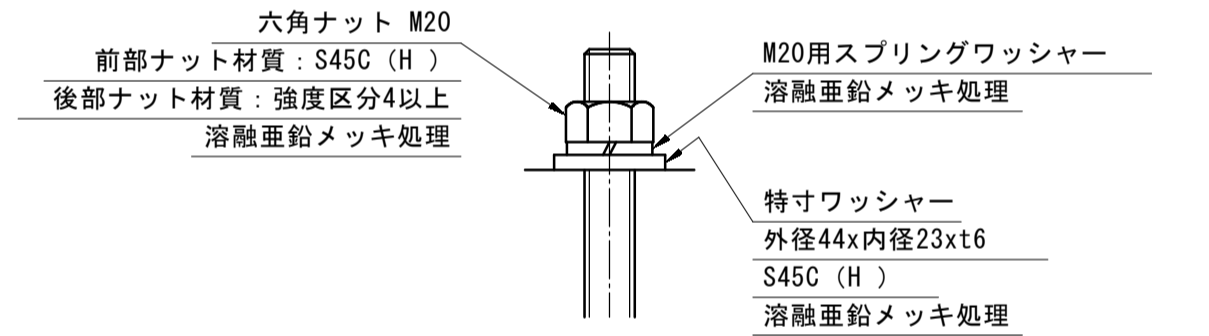


注記 1. 本防護柵の設計仕様は、(社)日本アルミニウム協会 土木製品開発委員会作成「アルミニウム合金製橋梁用防護柵設計要領」(平成30年6月)による。
2. 本防護柵の表面処理は、アルマイト(シルバー色)仕上げとする。
3. 強度区分の表記なきボルト類はA2-50以上とする。ただし、ビス類はA2とする。

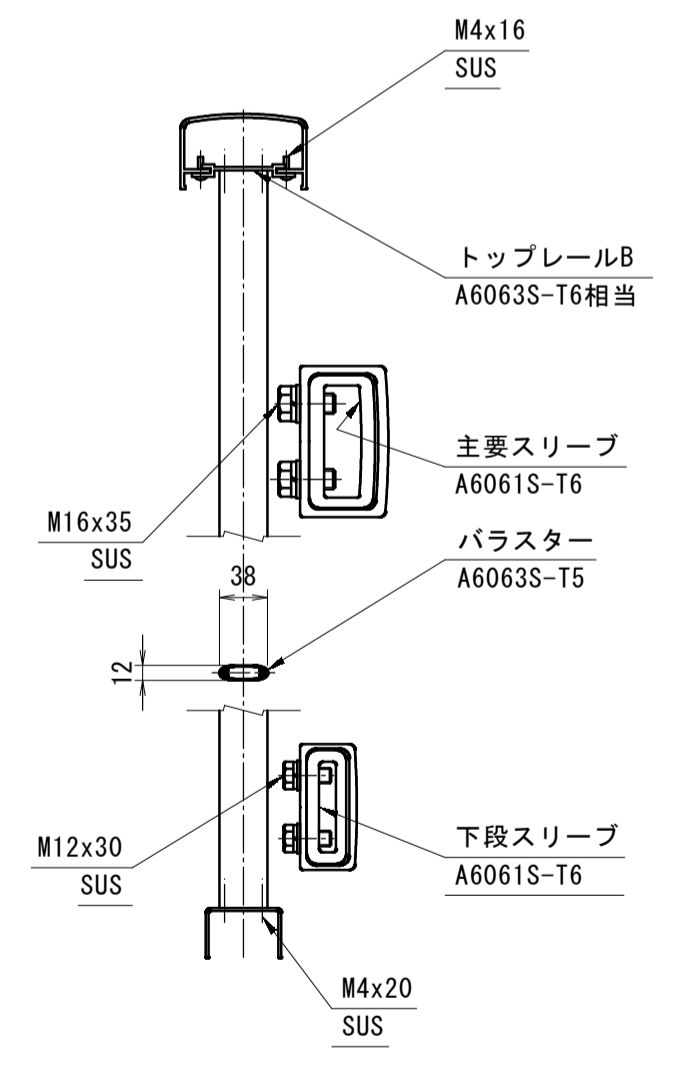
コンクリート強度 $\sigma_{ck}=21N/mm^2$ 以上

アンカーナット締め付け部

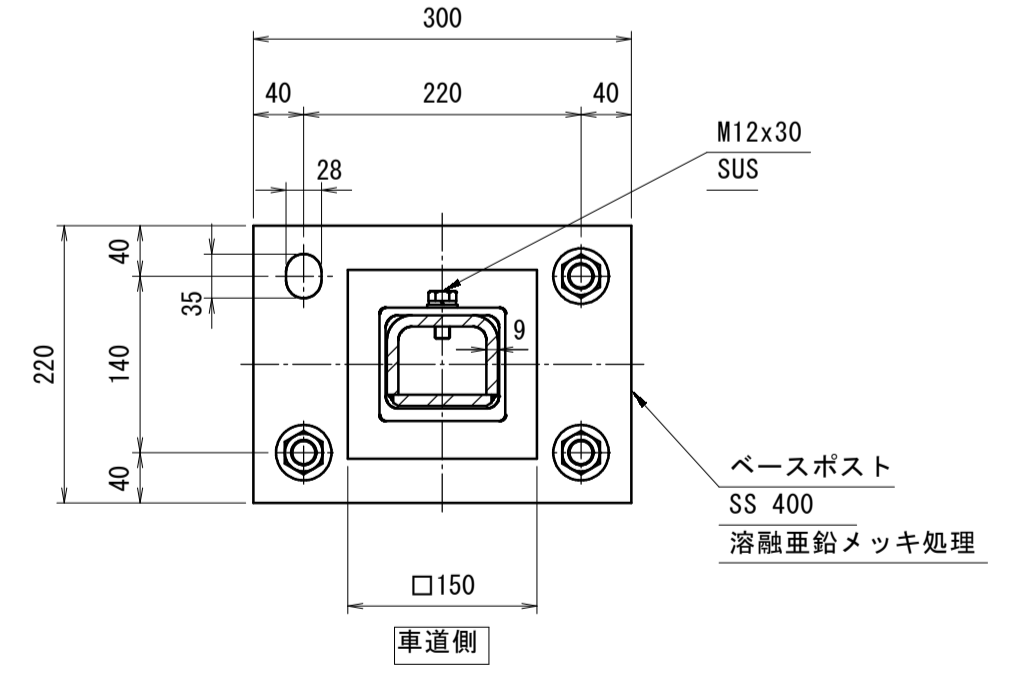
S=1:3



断面B-B



断面C-C



足尾橋

図面番号	第 12 枚 内 12 号
図面名称	市道住の江4号線住宅前橋ほか2橋りょう補修工事 足尾橋 路上部補修図 (3)
縮尺	図示 (A3版は表示縮尺の1/2に縮小表示)
製図年月日	令和 年 月 日
写図年月日	令和 年 月 日
米子市 都市整備部 道路整備課	